

システムバスルーム ルキナ北海道版

BRFN- 1216LBSh,LBSL,LBEL,LBPL
 1616LBSh,LBSL,LBEL,LBPL
 1620LBSh,LBSL,LBEL
 BRFS- 1616LBSh,LBSL
 1620LBSh,LBSL

取扱説明書

この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このシステムバスルームを美しく、また
快適にご愛用いただくために、ご使用前
にはこの取扱説明書をよくお読みいた
だき、正しく安全にお使いください。

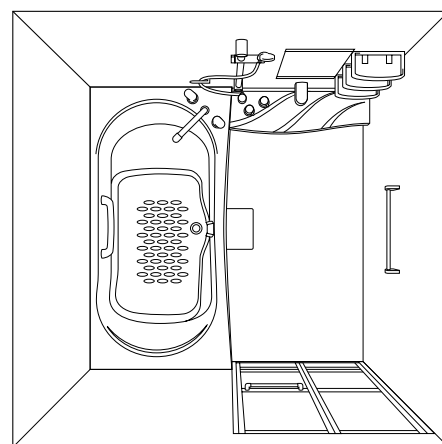
この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってくだ
さい。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を
負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書と水栓、機器類の取扱説明書は、必要な
ときにすぐ取り出せるところに保管してください。

転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書
をお渡しください。

施工者の皆様へ

この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。



も く じ

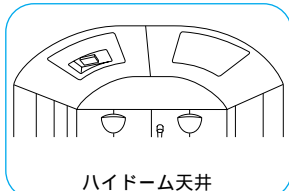
各部のなまえ.....	1
安全上のご注意（必ずお守りください）.....	4
使用時のご注意.....	8
ご使用方法	
排水栓について.....	12
水栓について.....	13
洗い場でお湯を使う.....	14
浴槽にお湯をためる.....	20
収納部について.....	23
ドアの施錠・解錠と取外し方.....	24
換気扇の使い方.....	28
風呂フタの使い方.....	29
電気式換気乾燥暖房機の使い方.....	30
電気式除菌イオン換気乾燥暖房機の使い方.....	31
電気式換気乾燥暖房機200Vの使い方.....	32
電気式除菌イオン換気乾燥暖房機200Vの使い方.....	33
電気式洗面室暖房機の使い方.....	34
温水式換気乾燥暖房機の使い方.....	35
温水式洗面室暖房機の使い方.....	36
オート暖房の使い方.....	37
浴室テレビの使い方.....	38
お掃除シャワーの使い方.....	39
ランドリーパイプの取付け方.....	39
スイッチ付CC(塩素除去)シャワーの使い方.....	40
スイッチ付マッサージシャワーの使い方.....	41
スライドフック付握りバーの使い方.....	42
サーモフロアについて.....	42
シャワー・ド・バスの使い方.....	43
お手入れ方法	
入浴後のお手入れ.....	44
日頃のお手入れ.....	44
念入りなお手入れ.....	51
長くお使いいただくために	
シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら.....	53
照明用ランプの交換.....	56
交換部品のご案内.....	59
冬期凍結の恐れがある場合.....	60
故障かな？と思ったら.....	64
アフターサービスについて.....	67
品番を調べる・廃棄について.....	70
保証書.....	71

各部のなまえ

天井

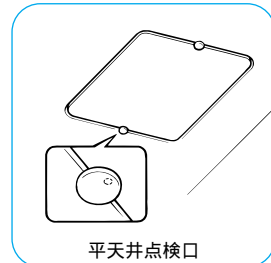


平天井

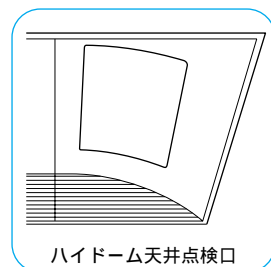


ハイドーム天井

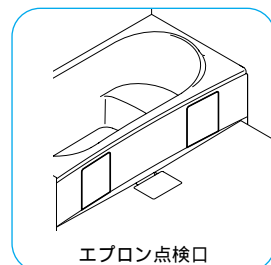
点検口



平天井点検口

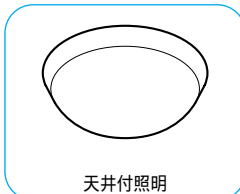


ハイドーム天井点検口

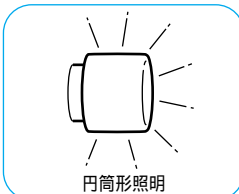


エプロン点検口

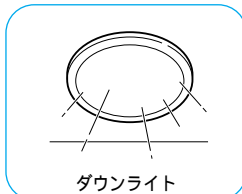
照明器具



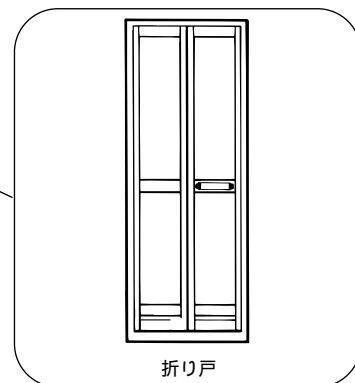
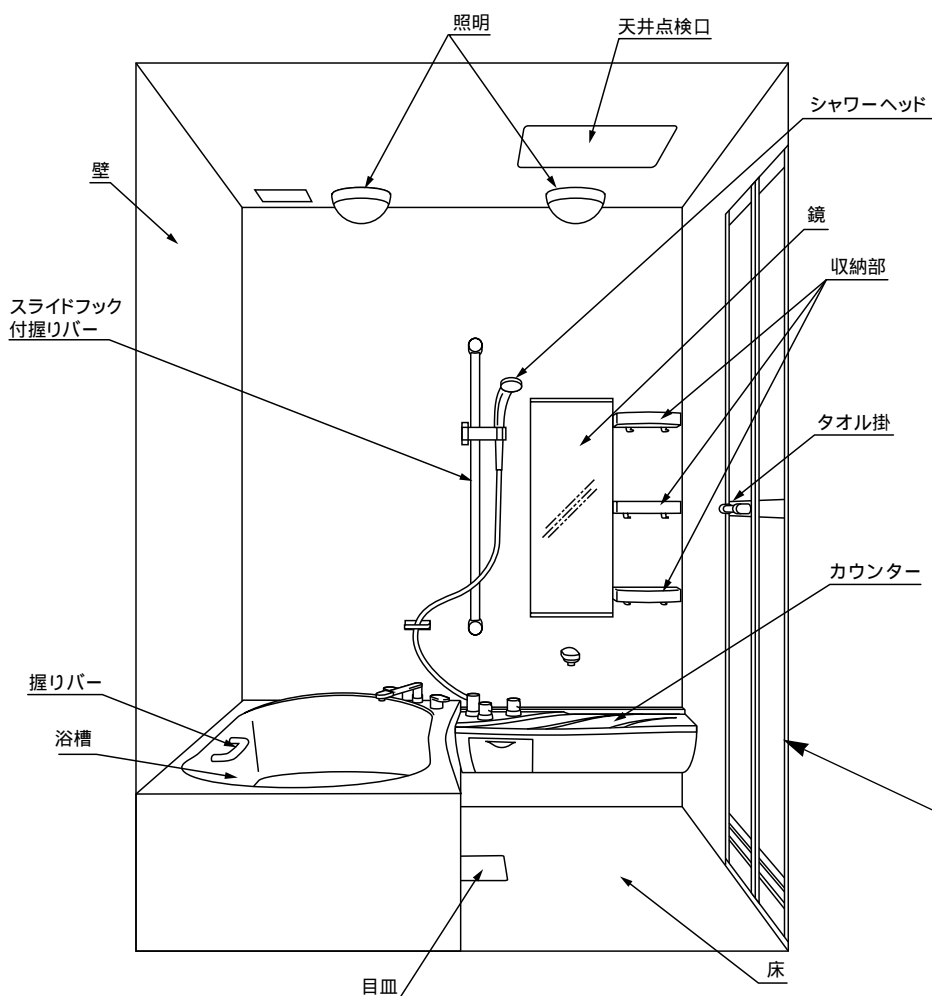
天井付照明



円筒形照明



ダウンライト



折り戸

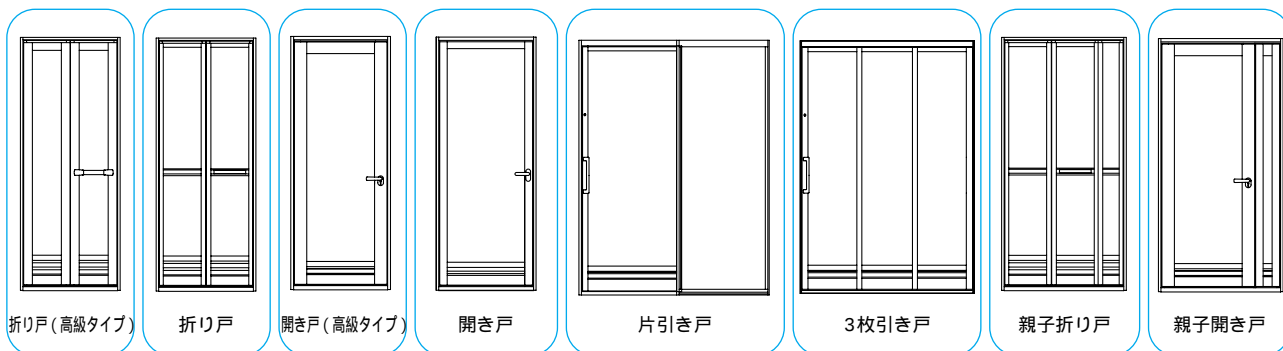
ご使用いただくシステムバスルームは上記イラストと異なる場合があります。

⚠ 注意

点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
火災・感電や漏水の原因となります。



ド ア

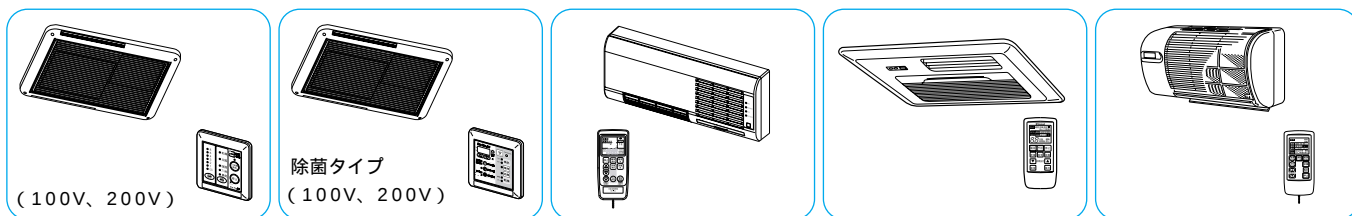


電気式換気乾燥暖房機

電気式洗面室暖房機

温水式換気乾燥暖房機

温水式洗面室暖房機

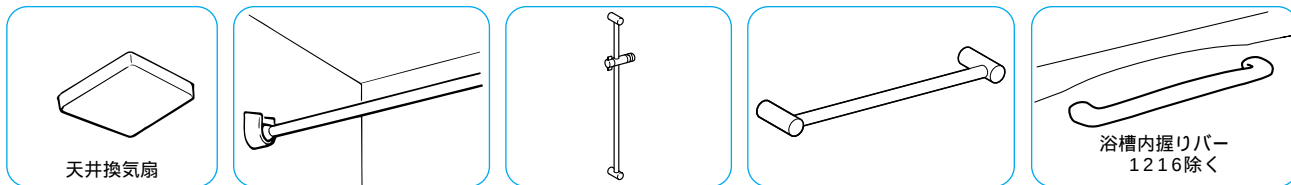


換気設備

ランドリーパイプ

スライドフック付握りバー

握りバー



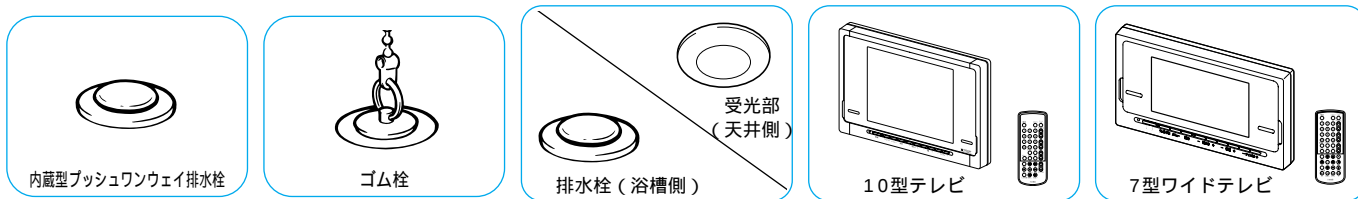
排

水

栓

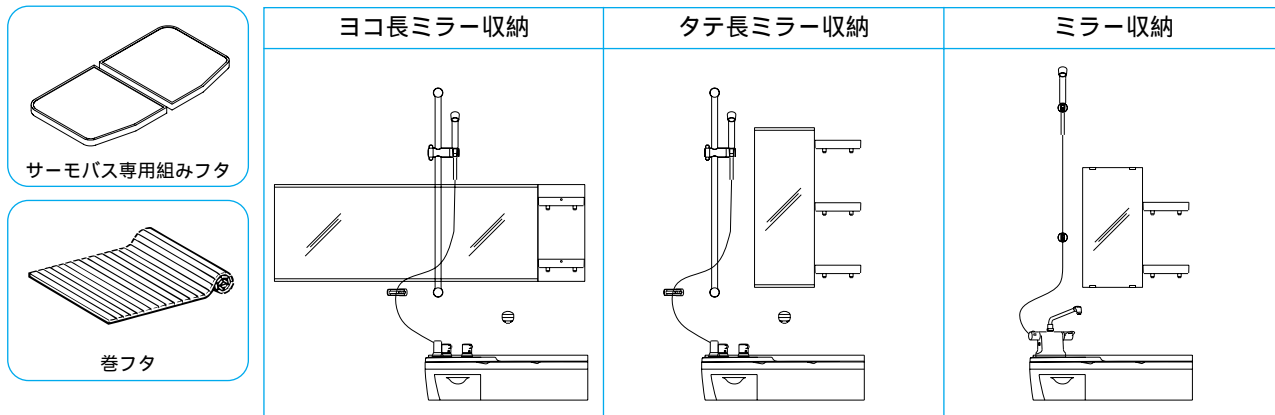
オ - ト排水栓

浴室テレビ

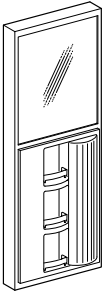
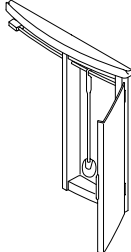
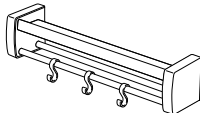
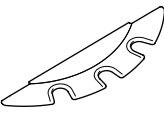
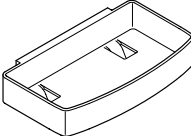


風呂フタ

内 装



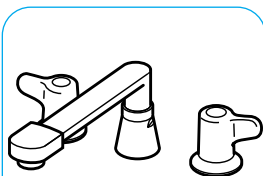
収 納 部

間仕切収納	掃除道具収納	棚付タオル掛	ボトルフック	フック付収納棚
				

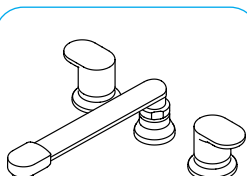
水栓の種類

● 浴槽側水栓

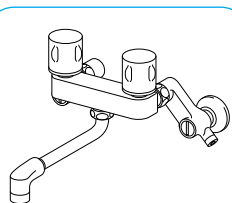
ツーハンドル水栓



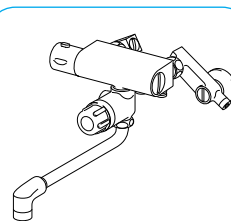
ツーハンドルデッキ
(ミーティス)
BF-M093C-U-PU



ツーハンドルデッキ
(アステシア)
BF-7093C-U-PU3



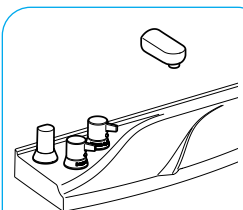
壁付タイプ
BF-M405N(220)-EB



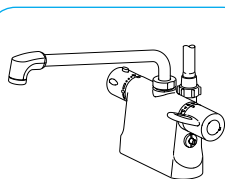
壁付定量止水タイプ
BF-M340TN(220)-EB

● 洗い場側水栓

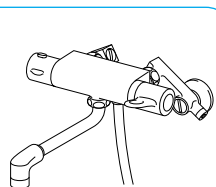
サーモスタット付水栓



埋込タイプ
代表品番
BF-M746TNR(L)-D-PU1

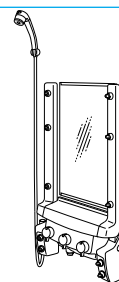


デッキ兼用タイプ
代表品番
BF-B646TN(330)-A120-D-PU



壁付兼用タイプ
BF-M145TN(250)-EB

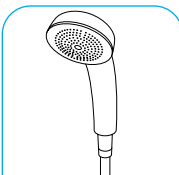
シャワー・ド・バス



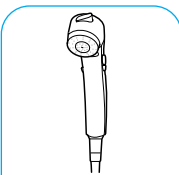
NYS-2B

● シャワーヘッド

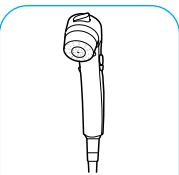
シャワーヘッド



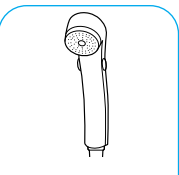
スプレーシャワー



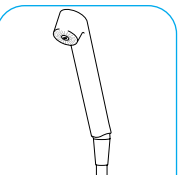
スイッチ付マッサージシャワー



スイッチ付CC(塩素除去)シャワー



スイッチ付スプレーシャワー



スプレーシャワー

お掃除シャワー



お掃除シャワー

本ページに記載しています部品は、ご注文時に選択いただく部品が含まれていますので、ご使用いただくバスルームと異なる場合があります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
水栓、換気扇等は商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

 **警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

 **注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 「注意しなさい！（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

 「してはいけません！（一般的な禁止記号です。）

 「分解してはいけません！」

 「指示した場所に触れてはいけません！」

 「指示通りにしなさい！（一般的な行動指示記号です。）

警告

風呂フタについての警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。

フタが外れて、ケガやヤケドをする恐れがあります。



水栓や換気扇等の取扱いについての警告

水栓や換気扇等の付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書の注意表示に従ってお使いください。

誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の恐れがあります。



使用用途についての警告

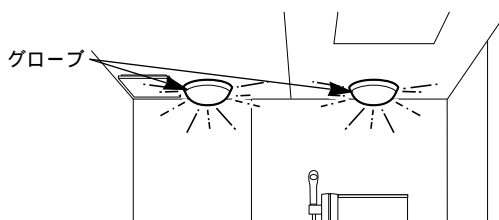
この商品は一般家庭用です。業務用等一般家庭用以外で使用しますと、寿命が著しく短くなる場合があります。



照明や換気扇についての警告

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。

火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れがあります。



照明器具にタオル等をかけないでください。過熱して火災になる恐れがあります。



換気扇等のお手入れや、ランプを交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。

感電やケガをする恐れがあります。



浴槽へのお湯張りについての警告

浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。

お手入れ等でヘアキャッチャーを取り外した時はきちんとはめ込んでください。（P.48 参照）また、追いだき機器をご使用の場合、水を循環口より10cm以上入れてください。

追いだき機器をご使用の場合、排水栓のはめ込みが不十分ですと漏水により空だきとなり、機器が故障する恐れがあります。



内装器具についての警告

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等にご相談ください。

誤った取付けをすると思わぬ事故や漏水の原因になることがあります。



⚠ 注意

ケガに注意！！

換気扇や換気乾燥暖房機運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。

感電やケガ・故障の恐れがあります。



浴槽に飛び降りる等、無理な力を加えないでください。

浴槽が破損してケガをしたり、漏水する恐れがあります。



浴室は石けん液等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。

転んでケガをする恐れがあります。



鏡に熱湯や冷水をかけないでください。急激な温度変化は鏡破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。



ものをぶつける等、鏡や壁・照明カバーへの衝撃はお避けください。

表面がキズついたり、割れてケガをする恐れがあります。



点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物等を置かないでください。

火災・感電や漏水、またフタが外れ、落下してケガをする恐れがあります。



浴槽やカウンタ - の上に乗って、掃除や電球交換を行わないでください。

不安定な作業になりますので、転倒してケガをする恐れがあります。



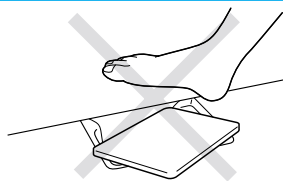
お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。

突起部分やすき間等でケガをする恐れがあります。



目皿を外したり、不完全に設置したまま、使用しないでください。

目皿をきちんとはめて使用してください。足を踏み外してケガをする恐れがあります。



収納部の高い位置にガラス容器等割れやすいものは収納しないでください。

誤って落下させますと割れてケガをする恐れがあります。



点検口に無理な力や衝撃を加えないでください。

点検口が割れたり、脱落してケガをする恐れがあります。



追いだき循環口に足をかけないでください。

追いだき循環口が外れ、転んでケガをしたり、ヤケドをする恐れがあります。



シャワーヘッド・シャワーフックに無理な力を加えないでください。

破損してケガをする恐れがあります。



⚠ 注意

ケガに注意！！

スライドフック付握りバーをご使用の場合に、スライドフックを鏡や壁にぶつけないでください。
スライドフックや壁がキズついたり、鏡が割れてケガをする恐れがあります。



自分で取り付けないで！！

ご自分で壁に穴をあけて、握りバーやタオル掛等を取り付けしないでください。
漏水の原因となります。



ヤケドに注意！！

付属の風呂フタ以外をお使いになる場合は、風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお選びください。
フタが外れて、ケガやヤケドをする恐れがあります。



溶剤、薬品に注意

・排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
漏水の原因となります。



使用時のご注意

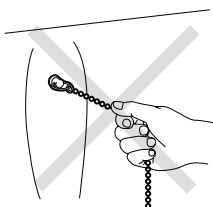
故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで!!

重いものや硬いものを落さないでください。
キズの原因となります。



ゴム栓の玉くさを強い力で引っ張らないでください。
破損の原因となります。

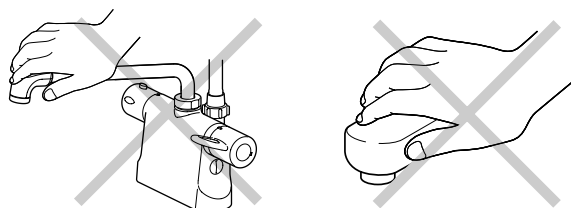


タオル掛やシャワーフック、ランドリーパイプ、S字フック等に無理な力を加えないでください。
破損の原因となります。

タオル掛や収納棚等の内装品にぶらさがったり無理な力を加えないでください。
破損や漏水の原因となります。
収納棚等が外れてケガの原因となります。

シャワーヘッドを鏡や壁、床等にぶついたり、落としたりしないでください。
キズや破損の原因となります。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
漏水の原因となります。



窓枠の上に植木ばち等の重いものを置いたり、窓枠に突っ張りブラインド等で押し広げる力を加えないでください。
破損や漏水の原因となります。

排水栓が開いた状態で栓の上に乗ったり、栓に荷重がかかった状態で、排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。
排水栓が破損し、漏水する原因となります。



カウンタ - やボトルフックに乗ったり、すわったりしないでください。
破損や漏水する原因となります。



おそうじのときは!!

タワシ、クレンザー、研磨剤、シンナー、アルカリ性および酸性の薬剤、塩素洗剤は表面をキズつけたり、変色、サビの発生の原因となりますので使用しないでください。漂白剤、カビ取り剤は必ずその取扱説明書を読み、目立たない箇所に付けてみて、変化のないことを確認してから使用してください。



ドアは浴室内の湯気や飛散する水を防ぐためのものです。ドアに直接水をかけないでください。
浴室外に水が漏れ、家財等をぬらす原因となります。

お手入れ等で、排水トラップや浴槽排水口のヘアキャッチャーを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。
排水管の詰まりや悪臭の原因となります。

浴槽内の注意!!

硫黄系、アルカリ系の入浴剤や、粉末状のお湯に溶けにくい入浴剤、温泉水、自家製の井戸水を使用しないでください。

浴槽表面の変色や漏水の原因となります。

金属類を放置しないで!!

ヘアピン・カミソリの刃等を放置しないでください。

サビが付着して取れなくなる場合があります。

火を近づけないで!!

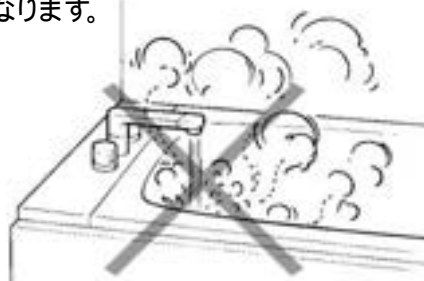
タバコ等の火気を近づけないでください。

キズ・ヒビ割れの原因となります。

熱湯に気をつけて!!

お湯は温度を調節して給湯してください。

直接熱湯(80℃以上)を入れたり、お湯を沸かしすぎますと浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因となります。



入浴剤の使用について

溶剤の入った液体入浴剤を使用しないでください。

パッキンや目地材を傷め、漏水の原因となります。

浴槽浄化保温機について

浴槽には浴槽浄化保温機(24時間バス)に該当する機器は使用しないでください。

継続して使用すると浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合があります。

化粧品の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用される時は、必ずシート等で床等を保護してください。

床等に付着するとシミになる場合があります。

目地のキズに気をつけて!!

床・壁・天井・窓枠等の継目部分の目地材または、コーキング材をはぎ取ったり、キズつけしないでください。

漏水の原因となります。

吸盤付製品の使用について

吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。

変色する恐れがあります。

すのこ等の使用について

すのこ、バスマット等を洗い場に敷く場合は、ご使用後、水洗いして、壁に立てかけてください。

カビ、変色、ニオイの原因となります。

洗い場の床について

床が汚れていることがありますので、はじめてご使用になる場合は、浴室用合成洗剤(中性)でお掃除することをお勧めします。

床表面は水はけの良いモザイクパターンになっていますが一部に水滴が残り、乾燥に時間がかかることがあります。また、入浴時使用のリンス等の固着により、床の乾燥性が悪くなる場合があります。浴室用合成洗剤(中性)でこまめに床をお掃除することをお勧めします。

床に残った大きな水滴は、入浴後使い終わったタオル等でふいておく乾燥に時間がかかりません。

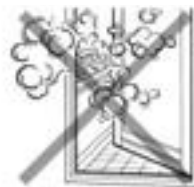
換気等に注意!!

暖房機や換気扇の吸込口をタオル等でフタをしないでください。
故障の原因となります。



入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
ただし、常時(24時間)換気機能付の場合は入浴後「強」運転を行い、浴室の湿気を排出してから「弱」運転にて常時換気を行ってください。
浴室にこもった蒸気は、悪臭やカビの発生原因となります。
換気扇を使用する時は、窓やドアを開けないでください。十分な換気ができません。

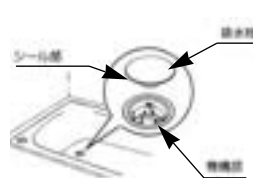
入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
浴室外に蒸気や水が漏れ、家財等をぬらす原因となります。
ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアの合わせ目に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮へいする構造ではありません。



凍結に注意

凍結の恐れがある場合は、水栓の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。また、温水式換気乾燥暖房機、熱源機ともに電源を切らないでください。
(詳しくは熱源機の取扱説明書をご覧ください。)
冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯器を使用の場合は、給湯器の取扱説明書に記載の凍結防止処置を行ってください。
破損や故障の原因となります。

冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください
破損の原因となります。



凍結のためにボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。



冬期凍結の恐れがある時期に、長期間使用しない(浴室内温度が零度以下へ低下)場合は、床排水トラップ内の水が凍結しないように、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや防臭パイプを外してから不凍液の替わりに不要になったタオル等をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気があがってこないようにしてください。

洗い場で大量の水を流すときは!!

浴槽にお湯が張られていなくても、洗い場でバケツや洗面器等の大量の水を流す場合は、浴槽排水栓を閉めてください。
洗い場の排水が浴槽へ逆流する恐れがあります。

シャワーヘッドを浸さないで!!

シャワーヘッドを浴槽・洗面器等に浸さないでください。
一度吐水された湯水等が配管に逆流する恐れがあります。

小さなお子さまを事故から守るために、お守りください

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 浴室ご使用时以外は浴室のドアは必ず閉めておいてください。
鍵がついているものは鍵を必ずかけてください。● 浴室内では、お子さまだけで遊ばせないでください。● お子さまのおもちゃ類を浴室内に放置しないでください。 | <ul style="list-style-type: none">● 使用後は、浴槽の水を抜いてください。● お子さまだけで入浴させないでください。
お子さまが誤って、浴槽に落ち、おぼれる恐れがあります。 |
|---|--|

ご使用方法

排水栓について

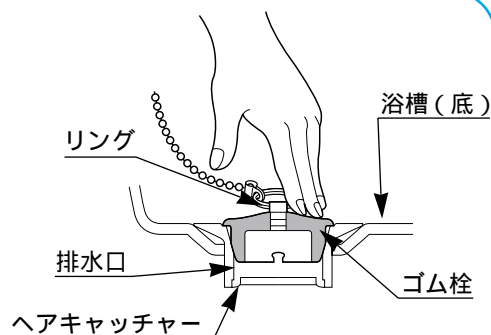
ゴム栓の場合

排水栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。

ゴム栓の閉まりが悪く、お湯が漏れて減っていく場合は、P.48の排水口のお手入れを参照して、ヘアキャッチャーをきちんとはめ直してください。

⚠ 注意

排水栓を抜く場合は、チェーンを持たずにゴム栓に付いているリングを持って抜いてください。
破損の原因となります。

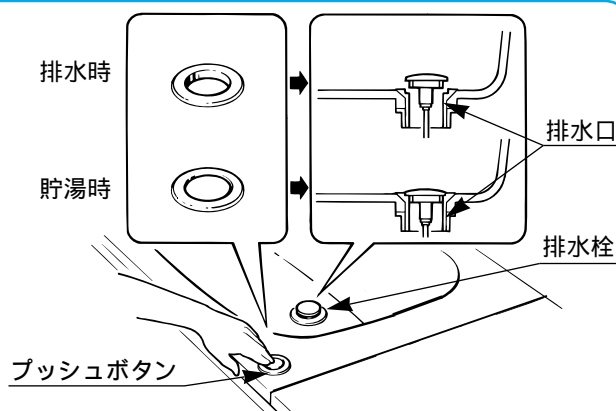


内蔵型プッシュワンウェイ排水栓の場合

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。

① 浴槽へお湯をためる時

プッシュボタンが上がった状態にします。
プッシュボタンが下がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、上がった状態になります。



② 排水する時

プッシュボタンが下がった状態にします。プッシュボタンが上がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、下がった状態になります。

オート排水栓の場合

詳しくはオート排水栓の取扱説明書をご覧ください。

オート排水栓とは

専用の給湯器のリモコン操作で、排水栓を自動的に閉めたり、開けたりできます。

- 給湯器のリモコンのスイッチONで排水栓を閉め、湯張りを行います。
 - 台所用リモコンからスイッチONでお風呂の排水ができます。
 - 浴槽のプッシュボタンでも排水栓の開閉ができます。(内蔵型プッシュワンウェイ排水栓の操作と同様です。)
- シンクロオート対応給湯器とオート排水栓の組合せが必要となります。

お願い

浴槽にお湯が張られていなくても、洗い場でシャンプー等の洗剤類を使う場合は浴槽排水栓を閉めてください。

洗い場の泡が浴槽へ逆流する恐れがあります。

水栓について

詳しくは各水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。 
- 高温の湯をお使いの時には、吐水口やシャワーホースが高温になることがあります。
金属部の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
ヤケドをする恐れがあります。 
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
ウォーターハンマー（衝撃音）が発生することがあります。
配管から漏水をおこし、家財等をぬらす原因となります。 
- 凍結が予想される場合は、水栓の取扱説明書をご覧ください。水抜きを行ってください。
凍結破損で漏水をおこし、家財等をぬらす恐れがあります。 



もしもこんなとき

サーモ水栓では、給湯器の設定温度が低温（40 前後）の場合、水栓から吐水される湯温が、表示温度から低めにずれることがあります。給湯器の温度設定は、使用する最高温度より約10 高く設定してください。

また季節によって給水温度も変化しますので、冬期は給湯器の温度設定を夏期に比べて高めに調節いただきますと表示温度とのずれが少なくなり、快適にご使用いただけます。

詳しくは給湯器や水栓の取扱説明書をご覧ください。

（株）NAXメンテナンスにご依頼いただければ、調節にお伺いします。（有料）（P.68 参照）

洗い場でお湯を使う



ワンポイント

洗い場では、高さ30cm程度の風呂イスをご使用することをお勧めします。
また、ゴム脚付の風呂イスをご使用いただきますと、床表面のキズ防止にもなります。



ワンポイント

使用する洗面器やカウンタ - に置く位置によっては、洗面器がカウンタ - から落ちることがあります。
洗面器は直径27cm以下、底裏面にゴムが取り付けられているものをご使用いただきますと、移動防止とカウンタ - 表面のキズ防止にもなります。

サーモスタット付水栓（埋込タイプ）の場合

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

1

温度の調節

温度調節ハンドルの温度表示の数字(温度目盛)は、吐水温度を示しています。これを目安として、温度調節ハンドルの安全ボタンを温度目盛に合わせてください。



ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。
高温側は目盛「H」付近(約45)でロックされるように配慮しています。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

シャワーホース

吐水口

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口の切替えとお湯を止めます。

切替表示マーク

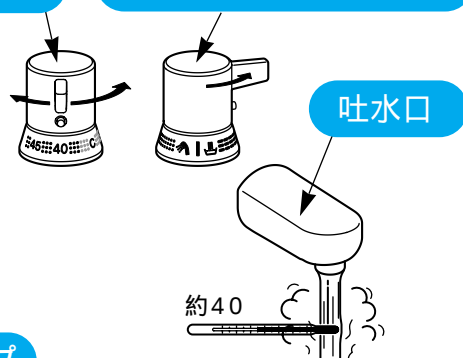
安全ボタン

希望の温度が得られないときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

- (1) 全開吐出し吐水口から出る湯の温度が、約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

温度調節ハンドル

シャワー・バス切替ハンドル



- (2) 吐出温度が約40℃になったところでシャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークを「止」位置に合わせ止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、ハンドルキャップ(2か所)を外し、温度調節ハンドルを抜きます。

ハンドルキャップ

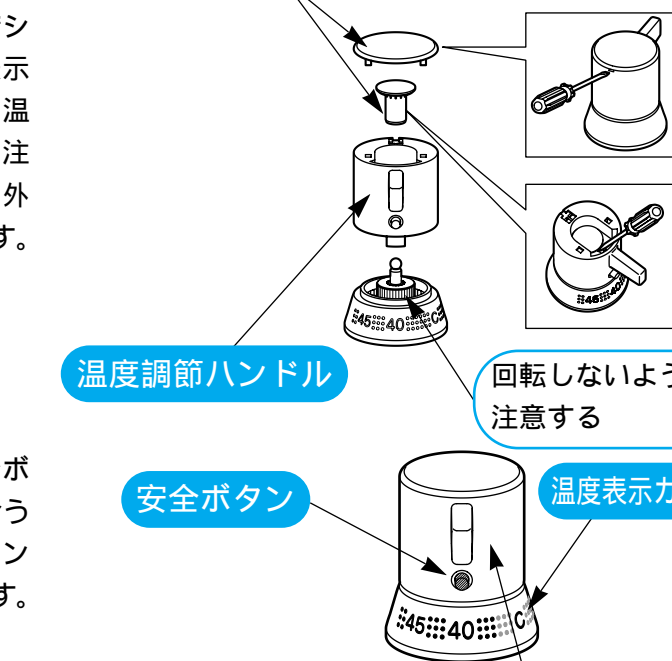
温度調節ハンドル

回転しないように
注意する

安全ボタン

温度表示カバー

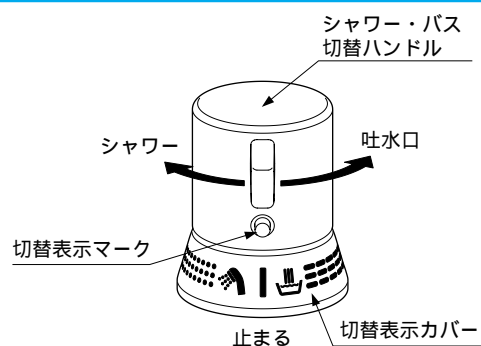
温度調節ハンドル



- (3) 抜き取った温度調節ハンドルの安全ボタンが温度表示カバーの「40」に合うように温度調節ハンドルをはめてハンドルキャップ(2か所)をはめ込みます。

2 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークと切替表示の「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを左に回してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを右に回してください。



サーモスタット付水栓（デッキ兼用タイプ）の場合

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- 水栓の左側（背面）は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
ヤケドをする恐れがあります。

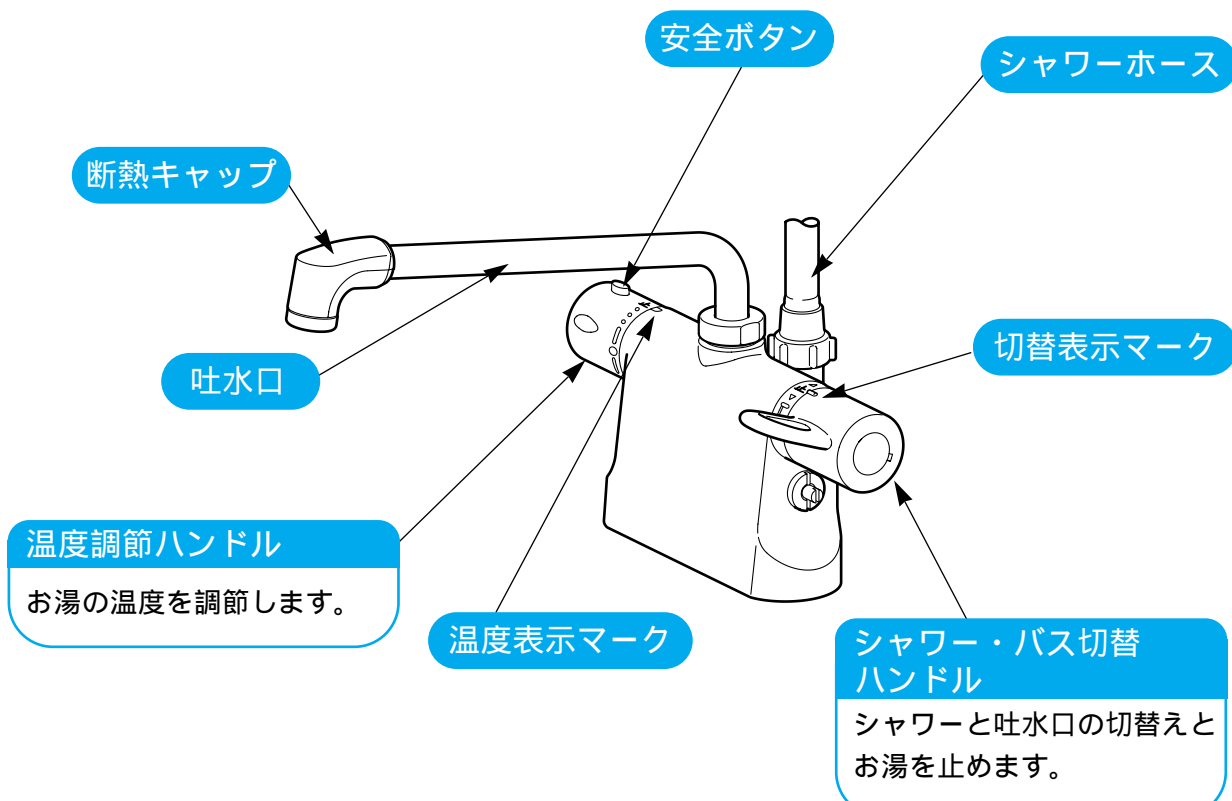


1 温度の調節

温度調節ハンドルの温度表示（温度目盛）は、吐水温度を示しています。これを目安として、温度調節ハンドルの安全ボタンを温度目盛に合わせてください。

ワンポイント

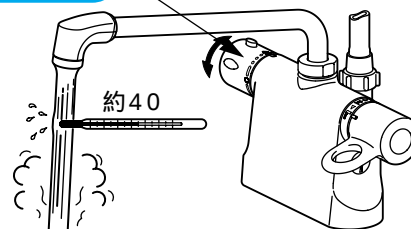
高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。高温側は目盛「45」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。



希望の温度が得られないときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

- (1) 全開吐出し吐水口から出る湯の温度が、約40 になるように温度調節ハンドルを回します。

温度調節ハンドル



- (2) 吐出温度が約40 になったところでシャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークを「止」位置に合わせ止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意してキャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。

温度調節ハンドル

キャップ

小型のマイナスドライバー等でキャップを外す

回転しないように注意する

温度表示

- (3) 抜き取った温度調節ハンドルの温度表示マークが温度表示の「40」に合うように温度調節ハンドルを取り付けてキャップをします。

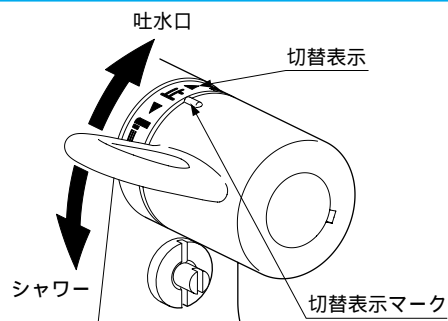
安全ボタン

温度調節ハンドル

温度表示マーク

2 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークと切替表示の「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを上に戻してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に戻してください。

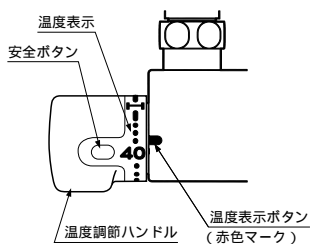


サーモスタット付水栓（壁付兼用タイプ）の場合

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

1 温度の調節

温度調節ハンドルの目盛は吐水温度を示しています。これを目安として、希望温度目盛をマーク（赤色）に合わせます。



ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

高温側は目盛「H」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

安全ボタン

「40」の表示を少し過ぎたところで一度ハンドルが止まります。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

ストレーナー

取付脚（給湯側）

取付脚（給水側）

水抜栓

シャワー・バス切替ハンドル

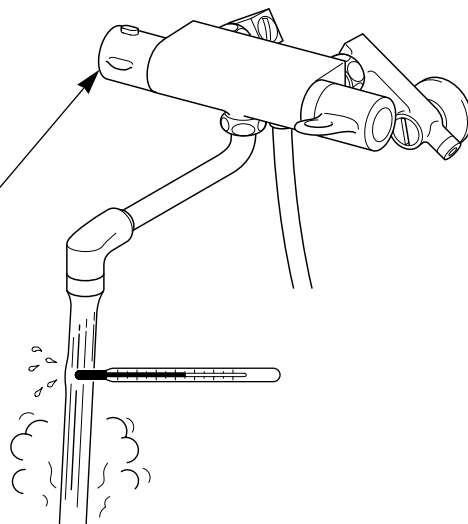
シャワーと吐水口の切替えとお湯を止めます。

シャワーホース

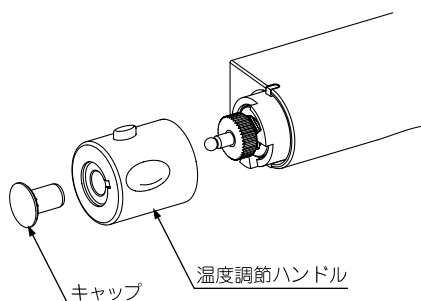
希望の温度が得られないときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

- (1) 全開吐出し吐水口から出る湯の温度が、約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

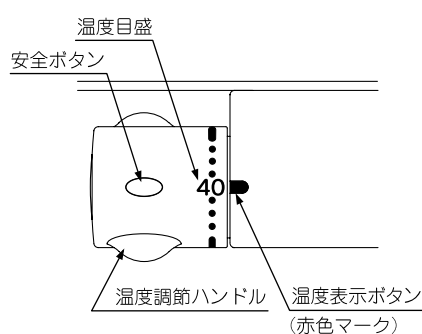
温度調節ハンドル



- (2) 吐出温度が約40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、ハンドルカバー、キャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。

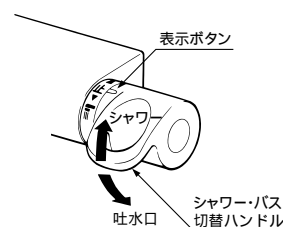


- (3) 抜き取った温度調節ハンドルの表示ボタンが温度表示の「40」に合うように温度調節ハンドルをはめてキャップを挿入し、ハンドルカバーをはめ込みます。



2 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの表示ボタンと本体側の表示リングの「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを上に戻してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に戻してください。



浴槽にお湯をためる

ツーハンドルデッキ水栓

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。また、自動湯張りの給湯器がついている場合は、給湯器の取扱説明書をご覧ください。

① 水側ハンドルを回します。

② 湯側ハンドルを回し、適温にします。

湯側ハンドル

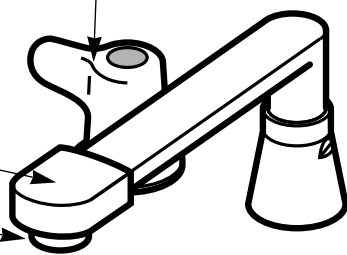
お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

断熱キャップ

吐水口



⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。また、止める時には必ず湯側ハンドルを先に閉めてください。
高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



壁付ツーハンドル水栓

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

- ① 水側ハンドルを回します。
- ② 湯側ハンドルを回し、適温にします。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

取付脚（給湯側）

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

取付脚（給水側）

水抜栓

断熱キャップ

吐水口

止める場合は、湯側ハンドルを先に回して止めてから水側ハンドルを回して止めてください。

壁付定量止水サーモスタット付水栓

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

取付脚（給湯側）

安全ボタン

ストレーナー

取付脚（給水側）

温度調節ハンドル

水抜栓

流量調節栓

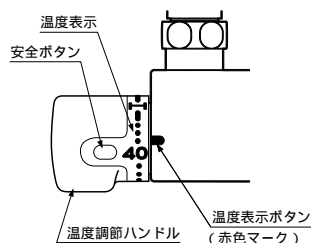
断熱キャップ

吐水口

定量止水ハンドル

1 温度の調節

温度調節ハンドルの目盛は吐水温度を示しています。これを目安として、希望温度目盛をマーク（赤色）に合わせます。



湯温が低い場合は、P.19をご参照ください。

ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

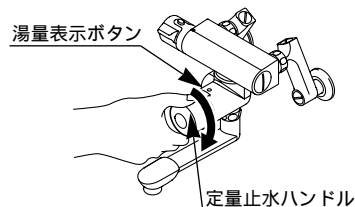
高温側は目盛「H」付近（約45）でロックされるように配慮しています。

2 吐出量の調節

● 定量止水（自動止水）の場合

定量止水ハンドルの数字（湯量目盛）は、自動的に止まる湯量（単位：リットル）を示しています。定量止水ハンドルを右（時計回り）に回して、湯量目盛を本体の湯量表示ボタン（赤色マーク）にセットしてください。

「100」以下の目盛にセットする時は、一度「100」以上の目盛に回してから戻してセットしてください。



[簡単にお使いいただくために]

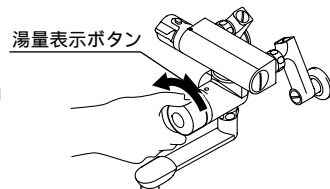
浴槽に適した湯量目盛を右表を参考にして決めてください。

セットの目安

浴槽の大きさ	目盛
1150浴槽	200
1600標準浴槽	250

● 連続して吐出する場合

定量止水ハンドルを左（反時計回り）に回して、「ON」のマークを湯量表示ボタンに合わせてください。定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。



⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



収納部について

⚠ 注意

- 収納部の高い位置にガラス容器等割れやすい物は、収納しないでください。
誤って落下させますと、割れてケガをする恐れがあります。
- 収納部に無理な力を加えないでください。
破損してケガをする恐れがあります。



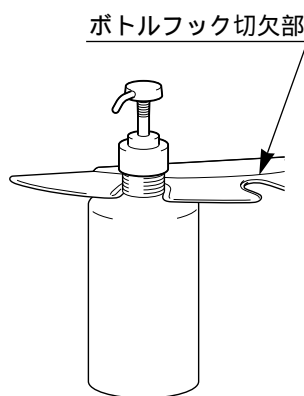
ボトルフック

ポンプ式のシャンプーやリンス等のボトルを取り付けてご使用になれます。

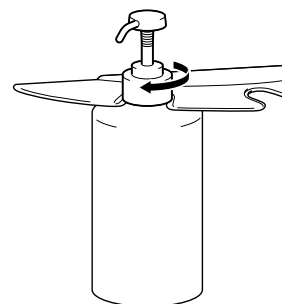
- 1 ボトルのポンプ部をゆるめます。



- 2 ボトルフック切欠部の奥まで差し込みます。



- 3 ボトルのポンプ部を締めます。
ボトルがずれたり、外れないことを確認してください。



取外しは、必ずボトルのポンプ部をゆるめてください。

ドアの施錠・解錠と取外し方

開き戸、折り戸、親子戸、引き戸でご使用方法が異なります。以下の説明をよくお読みいただき、該当する方法で正しくご使用ください。

浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能か確認してください。万一、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。



ワンポイント

小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外は浴室外側からの施錠をお勧めします。

開き戸の施錠・解錠（親子開き戸共通）

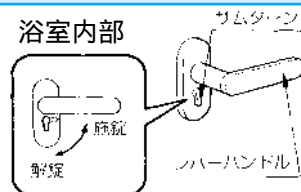
浴室内部からの施錠・解錠

施錠はサムターンを横向きにし、解錠は下向きにします。

浴室から出る際にドアを閉めるときは、サムターンを必ず解錠状態にしてください。

施錠の状態にしたままドアを閉めると、入室できなくなります。

その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

施錠はサムターン溝にコイン等を差し込んで回し横向きにします。

非常時に浴室外から解錠するときは、サムターン溝にコイン等を差し込んでサムターン溝をタテ方向に回しますと、解錠状態となり、ドアを開けることができます。

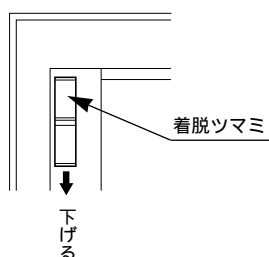


開き戸の取外し方（親子開き戸共通）

浴室内で人が倒れる等により扉が開かなくなった場合には、以下の要領で扉を外してください。

1

扉上部の着脱ツマミを下げます。

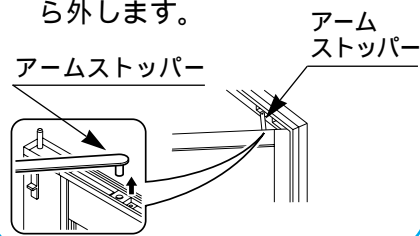


2

レバーハンドルを回して、扉を浴室側に少し開きます。（ドアが外れるまで離さないでください。）

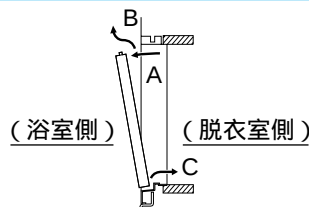
3

扉上部のアームストッパーを上へ押し、扉本体から外します。



4

扉上部を浴室側へ傾けながら（図中A）上方へ持ち上げます。（図中B）



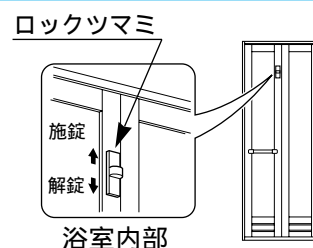
扉を少し斜めにしながら、脱衣室側へ取り出します。（図中C）

取付けは「取外し方」と逆の手順で行います。下枠溝と扉下部にゴミが付着していないかを確認して取り付けてください。取付け後は、アームストッパーが確実ににはめ込まれていることを確認してください。取付け後は、着脱ツマミが元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

折り戸の施錠・解錠（親子折り戸共通）

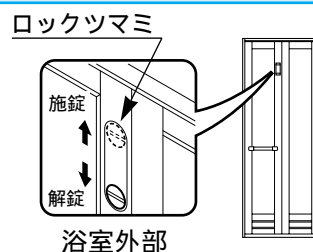
浴室内部からの施錠・解錠

施錠は扉上側にあるロックツマミを上げます。
解錠はロックツマミを降ろします。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

施錠は扉上側にあるロックツマミを上げます。
非常時に浴室外から解錠するときは、
ロックツマミを降ろしますと、解錠状態となり、
扉を開けることができます。

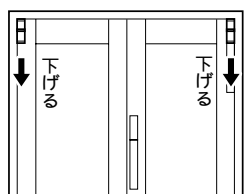


折り戸の取外し方（親子折り戸共通）

浴室内で人が倒れる等により扉が開かなくなった場合には、以下の要領で扉を外してください。

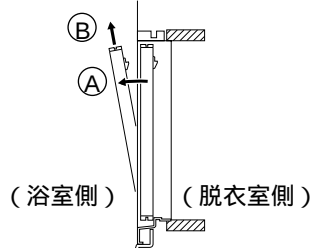
1

扉の左右上部の2か所の
着脱ツマミを下げます。



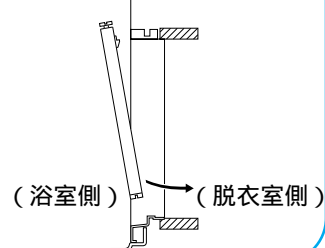
2

扉上部を浴室側に傾けます。—(A)
扉を上方へ持ち上げます。—(B)



3

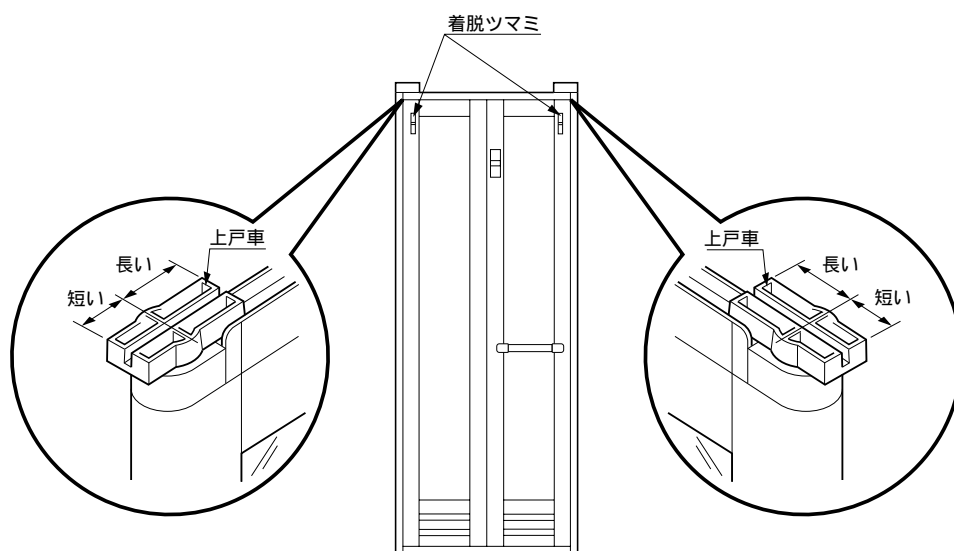
扉を折りたたみながら、
脱衣室側へ取り出します。



取付けは扉を開いた状態で「取外し方」と逆の手順で行います。取付けの際は、戸車の向きに注意してください。向きを間違えると開閉時、ドア枠から扉が外れます。(次ページを参照してください。)

取付けの際は、必ず上戸車の向きを確認してください。

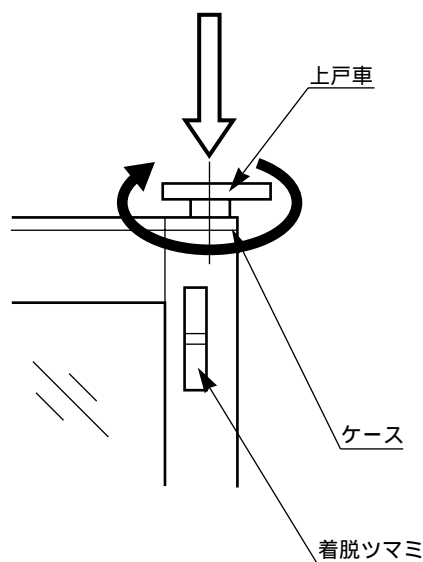
左右の上戸車の長い方どうしが向きあうようにして、扉上部左右の着脱ツマミを下げ取り付けてください。



正しく取り付けられていない場合、開閉時に枠から扉が外れたり、漏水の原因となります。

上戸車が着脱ツマミで上下できない場合は上戸車の向きを短い方が扉中央を向く状態にし、ケースに当たるまで押し込みます。押し込んだ状態で上戸車を180度回転させ、長い方が扉中央に向いた状態で手を戸車からはなしてください。上戸車がロックツマミで上下できれば対処完了です。

上戸車が着脱ツマミで上下できない場合でも、上戸車と着脱ツマミを扉から取り外さないでください。元に戻せなくなります。



扉を外した時に置く際は、落とさないように注意してください。扉下の戸車が破損する恐れがあります。

取り付ける際は、扉下の戸車にゴミ等が付着していないかを確認して取り付けてください。

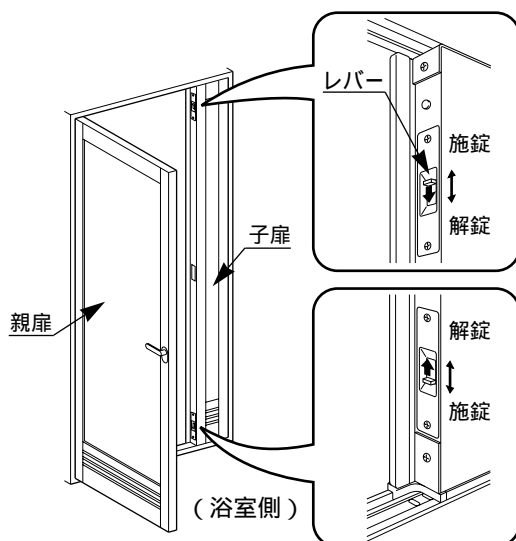
親子開き戸、折り戸（子扉）の施錠・解錠

⚠ 注意

浴室ご使用時は子扉のロックをかけた状態で使用してください。

親子開き戸の子扉の施錠・解錠

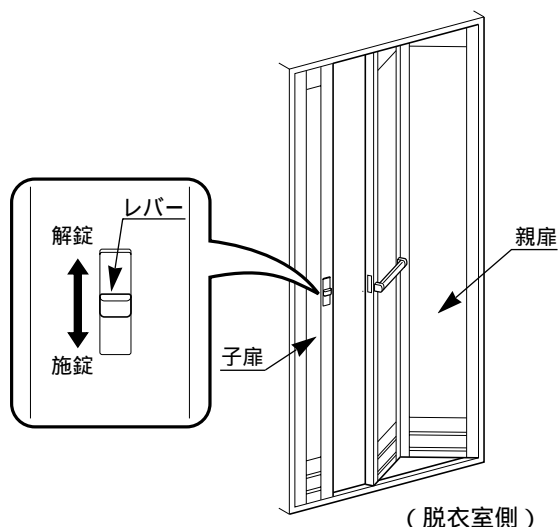
親扉を開いた状態で、子扉側面にあるレバーをスライドさせます。



子扉は外さないでください。

親子折り戸の子扉の施錠・解錠

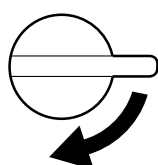
親扉を開いた状態で、子扉の脱衣室側中央部にあるレバーをスライドさせます。



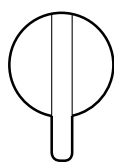
子扉は外さないでください。

3枚引き戸・片引き戸の施錠・解錠

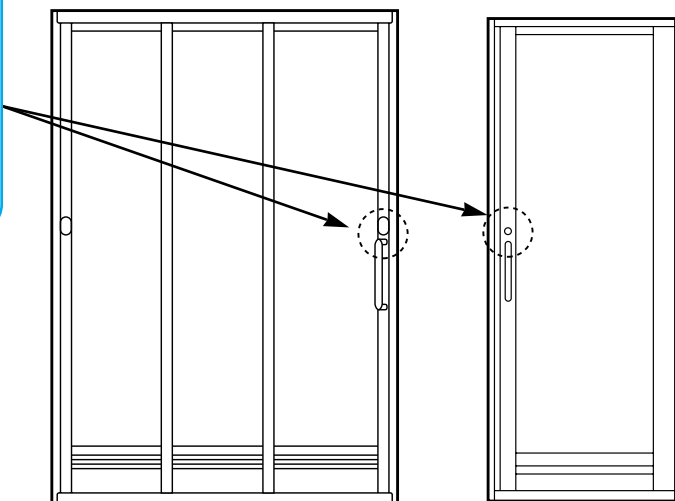
施錠・解錠



施錠



解錠



⚠ 注意

開閉の際には、戸のすき間に指や手をはさまないよう、注意してください。

ケガをする恐れがあります。



扉の取外し方についてはP.50の「下カバーの外し方」をお読みください。

換気扇の使い方

詳しくは換気扇の取扱説明書をご覧ください。

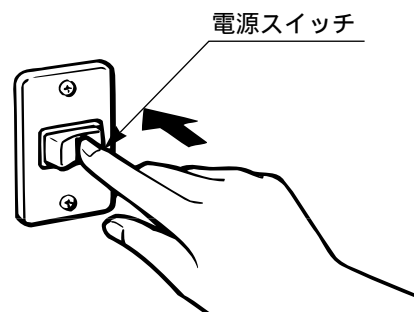
浴室外にある電源スイッチを押して換気扇を操作します。

換気扇を運転する場合は窓やドアを閉めてください。

P.10の「換気等に注意!!」を参照して、ご使用ください。

ワンポイント

- 浴室を長くご使用いただくために入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等して浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
- 常時(24時間)換気機能付の場合は、入浴後「強」運転を行い、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してから常時換気運転を行ってください。なお、常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。



オプション機能

風呂フタの使い方



ワンポイント

風呂フタはカビが発生しやすいところです。ときどき、うすめた浴室用合成洗剤（中性）をスポンジ等につけて洗い、その後水で流して陰干し等でよく乾燥させると、カビが発生しにくくなります。

お願い

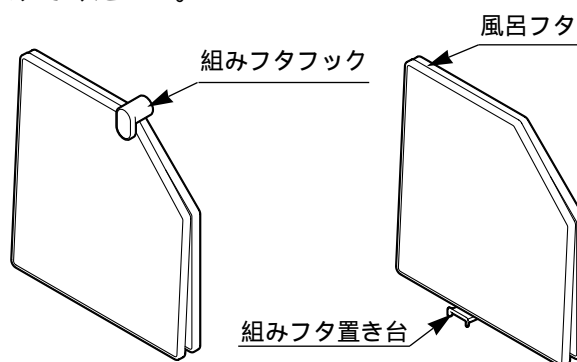
市販の防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

サーモバス専用組みフタの場合

- 組みフタ置き台の場合は、風呂フタを組みフタ置き台に置き、風呂フタを壁に立てかけます。
- オプションの組みフタフックは、浴槽背もたれ側の壁に付いています。入浴するときは風呂フタをフックにかけてください。

⚠ 注意

風呂フタフックにもたれたり、組みフタ置き台を踏んだり、無理な力をかけないでください。組みフタ置き台を使用しないときは、誤って踏んだりしないよう、置き場所に注意してください。
破損したり、ケガをする恐れがあります。



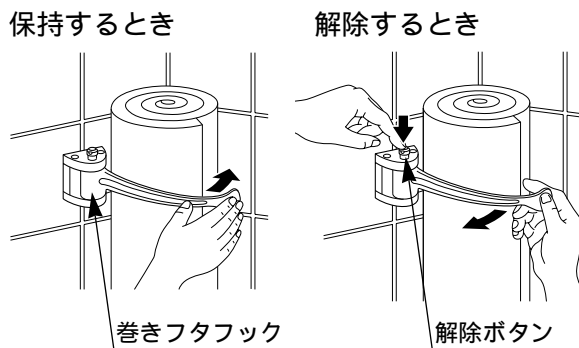
巻きフタの場合

巻きフタを立てかけて保持するときに使用します。巻きフタフックを解除するときは、解除ボタンを押してフック先端を回転させます。

事故防止のためフックを使用しない時はフック先端を壁に寄せてください。

⚠ 注意

フック先端を急に回転させたり、無理な力をかけないでください。
破損の原因となります。



電気式換気乾燥暖房機の使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。

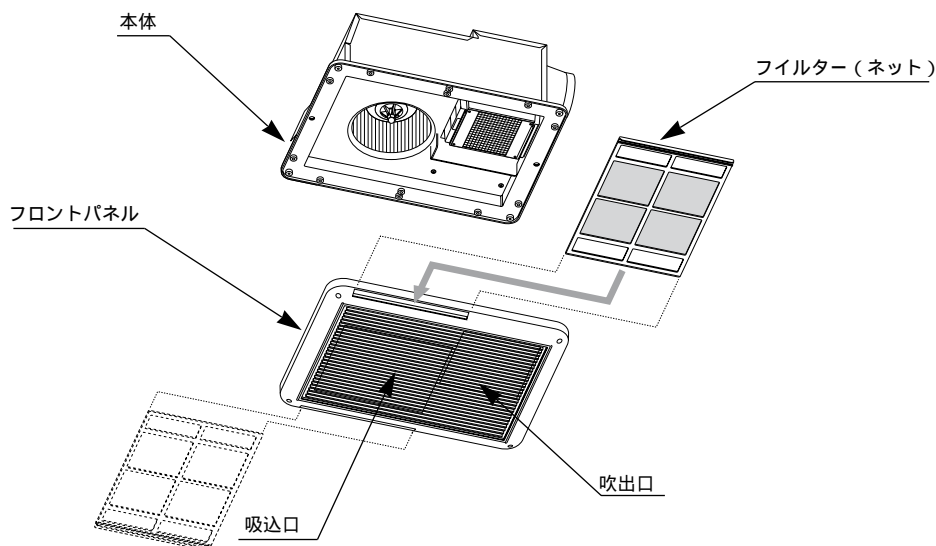
詳しくは電気式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。

入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき



表示ランプ

各運転モードに応じて点灯します。

時間表示ランプ

設定された時間ランプが点灯し、運転開始とともに残り時間が点灯します。

時間設定ボタン

運転時間を設定するときに使用します。

運転切替ボタン

運転モードを切り替えるときに使用します。

24時間換気ボタン

24時間換気運転をするとき、24時間換気運転を一時停止するときに使用します。

停止ボタン

乾燥、涼風、暖房、ブロー換気、換気の運転を停止させるときに使用します。

リセットボタン

異常時や設定をリセットするときに使用します。



ワンポイント

常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

電気式除菌イオン換気乾燥暖房機の使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。また、クリーン換気運転等では、除菌イオンの放出により、浴室内のカビの増殖を抑えることができます。

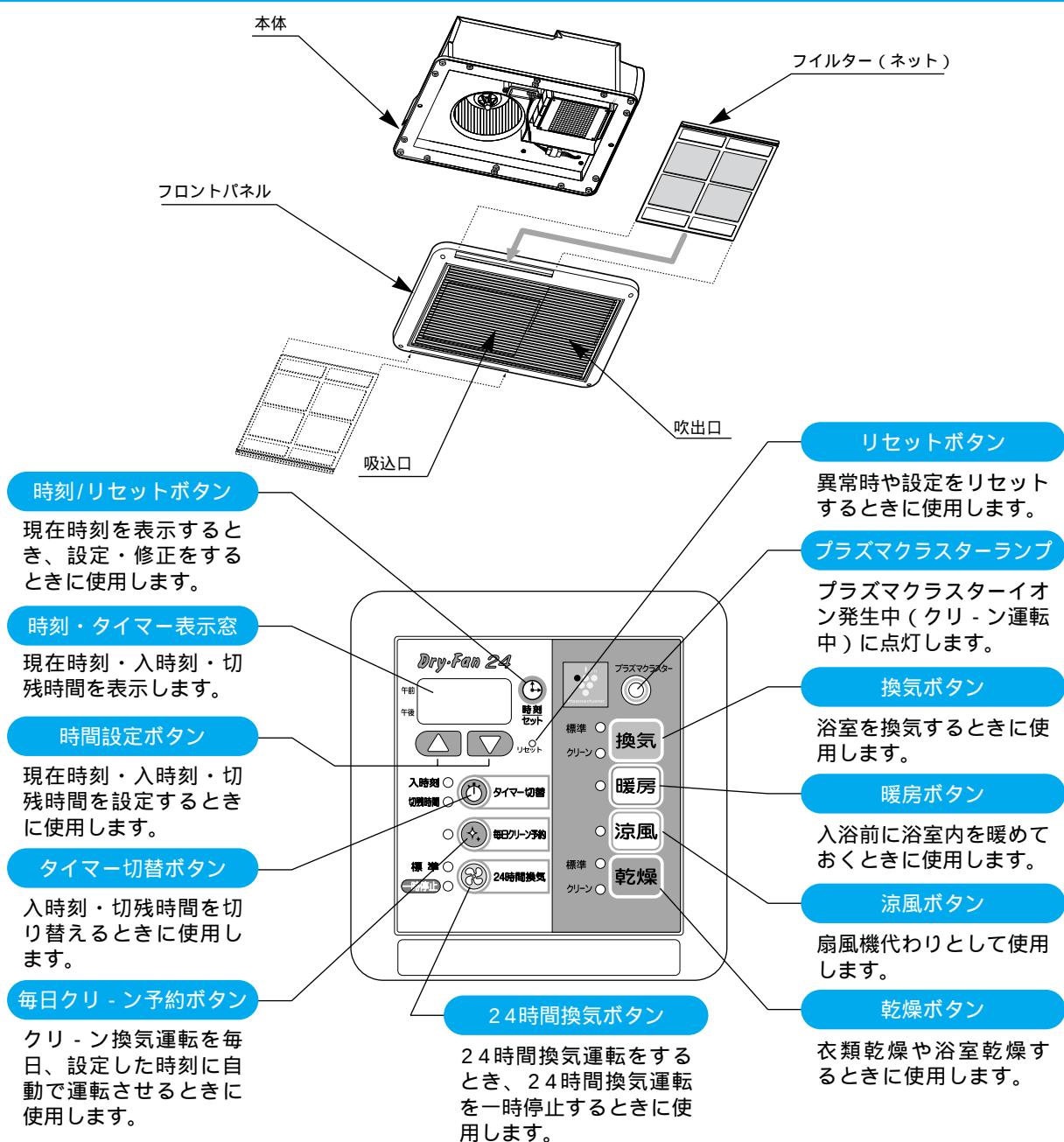
詳しくは電気式除菌イオン換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。

入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき



ワンポイント

常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

電気式換気乾燥暖房機200Vの使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。

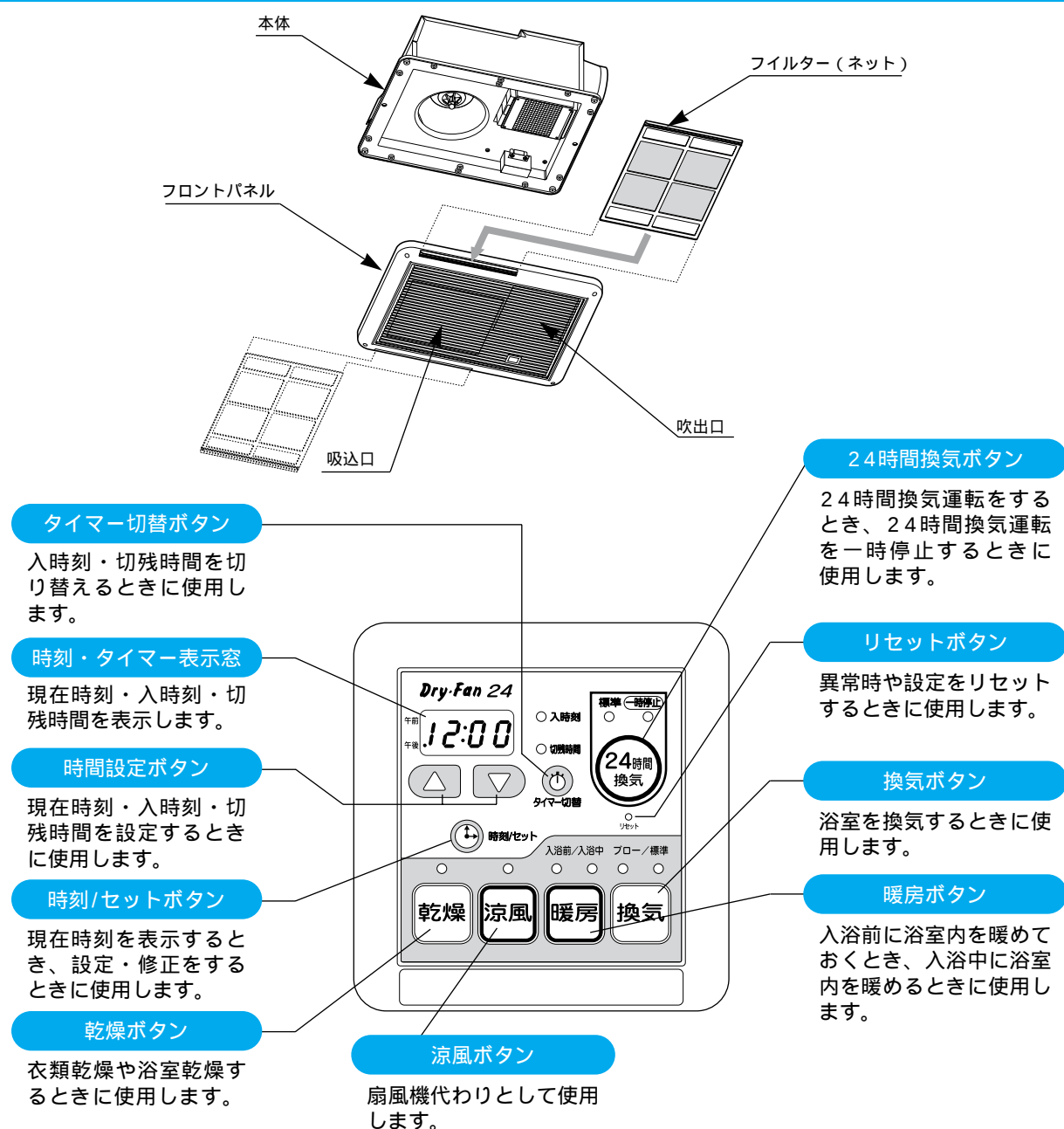
詳しくは電気式換気乾燥暖房機200Vの取扱説明書をご覧ください。

入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき



ワンポイント

常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

ご使用方法(オプション機能)

詳しくは電気式除菌イオン換気乾燥暖房機200Vの取扱説明書をご覧ください。

乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

時刻/リセットボタン

時刻・タイマー表示窓

時間設定ボタン

タイマー切替ボタン

毎日クリ - ン予約ボタン

24時間換気ボタン

The diagram illustrates the components of the Dry-Fan 24 unit. At the top, the main body (本体) is shown with the front panel (フロントパネル) attached. The front panel features an intake grille (吸込口) and an outlet grille (吹出口). A filter (net) (フィルター(ネット)) is shown being inserted into the unit. Below the main unit, a detailed view of the control panel is provided. The panel includes a digital display showing '午前' (AM) and '午後' (PM) times, a 'Dry-Fan 24' logo, and various control buttons and indicators. The control panel is divided into several sections: a top section with a 'リセット' (Reset) button and a '標準セット' (Standard Set) button; a middle section with a '換気' (Ventilation) button and a '暖房' (Heating) button; a bottom section with a '涼風' (Cool Wind) button and a '乾燥' (Drying) button. The panel also features a 'タイマー切替' (Timer Switch) button, a '毎日クリーン' (Daily Clean) button, and a '24時間換気' (24-hour Ventilation) button. The panel is labeled with 'Dry-Fan 24' and 'プラスマクラスター' (Plasma Cluster).

本体

フロントパネル

吸込口

吹出口

フィルター(ネット)

リセットボタン

異常時や設定をリセットするときに使用します。

プラスマクラスターラン

プラスマクラスターイオン発生中(クリーン運転中)に点灯します。

換気ボタン

浴室を換気するときに使用します。

暖房ボタン

入浴前に浴室を暖めおくと、入浴中に浴室を暖めるときに使用します。

涼風ボタン

リセットボタン

プラズマクラスターランプ

換気ボタン

暖房ボタン

涼風ボタン

乾燥ボタン

衣類乾燥や浴室乾燥するときに使用します。



ワンポイント

常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

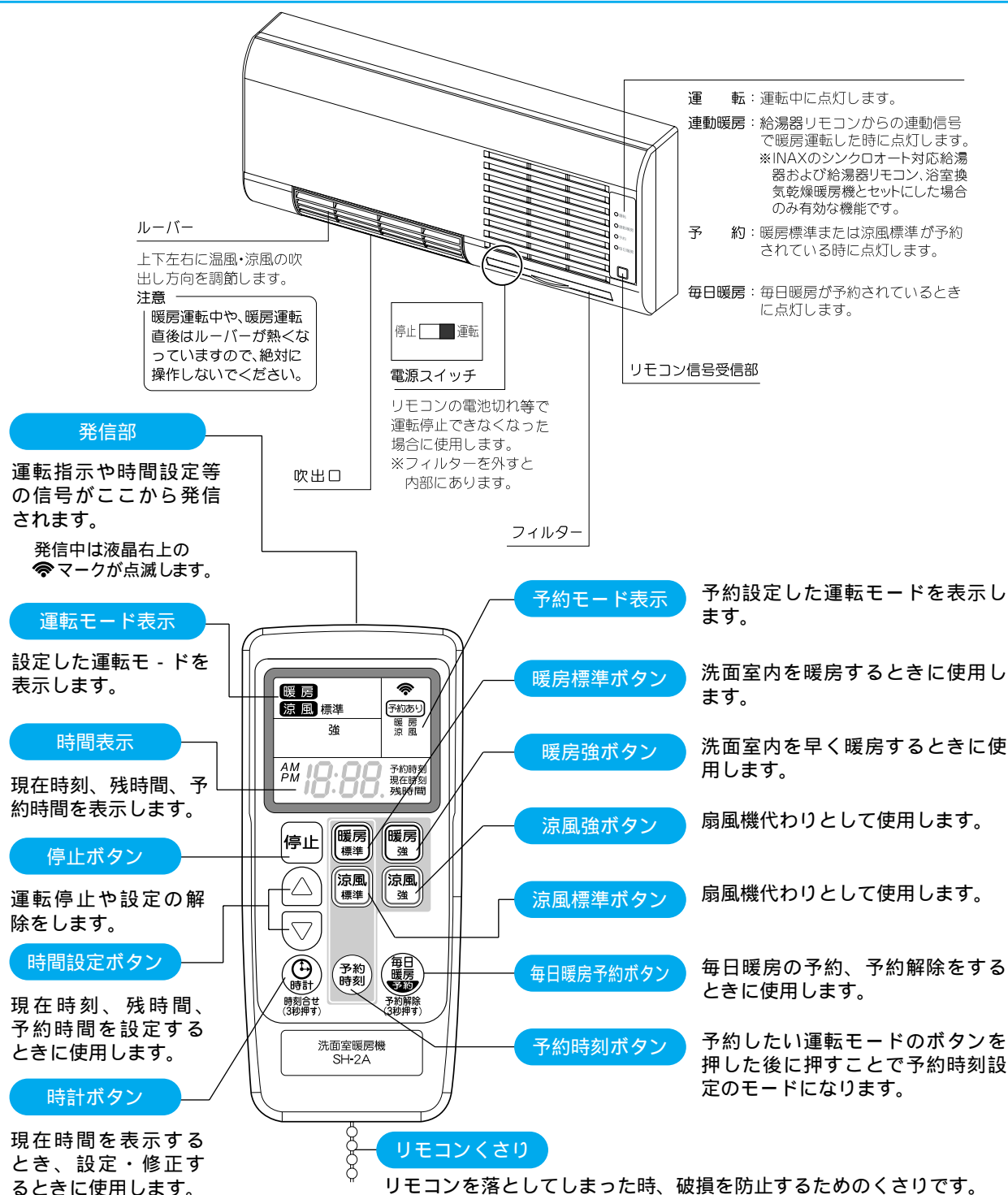
電気式洗面室暖房機の使い方

温風により、洗面室を暖房することができます。また、暖房予約により、毎日同じ時刻に暖房を行うことができます。

詳しくは電気式洗面室暖房機の取扱説明書をご覧ください。

洗面室の広さ、断熱状態、窓の有無等の使用条件により、室温が上昇しにくいことがあります。入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと洗面室が暖かくなります。

各部の名称とはたらき



温水式換気乾燥暖房機の使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。

詳しくは温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。

入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき

本体表示部

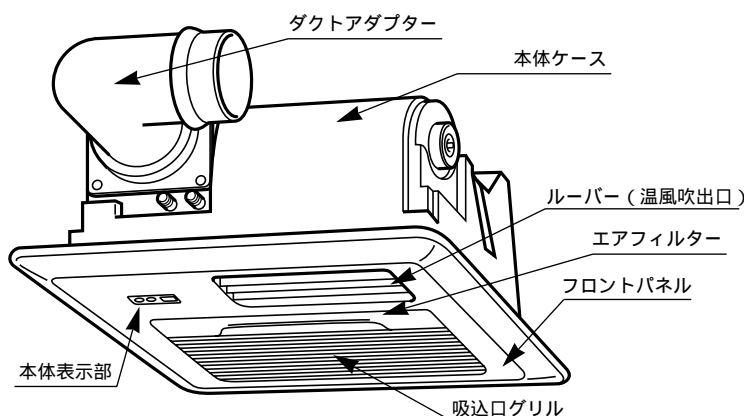
予約ランプ 予約暖房運転の待機中は橙色に点灯します。

リモコン受光部

予約 運転/給水

運転/給水ランプ

運転中は緑色に点灯します。
 緑色点滅時：本機の異常です。
 赤色点灯時：熱源機の湯水異常です。
 赤色点滅時：熱源機の異常です。
 （上記の状態になった場合は、温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご確認ください。）
 ・熱源機の種類によっては異常をランプで表示しない場合もあります。



ワンポイント 常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

運転モード表示部

右のイラストは説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

予約暖房ボタン

予約暖房時に使用します。

暖房ボタン

暖房時に使用します。

乾燥ボタン

衣類乾燥・浴室乾燥時に使用します。

温度設定ボタン

暖房運転時に温度設定を変更する時に使用します。

送信部

電池消耗表示

この表示が出たら電池を交換してください。

停止ボタン

各モードの運転停止およびエラー停止の解除に使用します。

涼風ボタン

涼風運転時に使用します。

換気ボタン

換気運転時に使用します。

時間設定ボタン

各モードの時間設定に使用します。

風向切替ボタン

風向（ルーバー角度）を切り替える時に使用します。

リモコンくさり

万一、リモコンを落としてしまった時、破損を防止するためのくさりです。

凍結予防運転

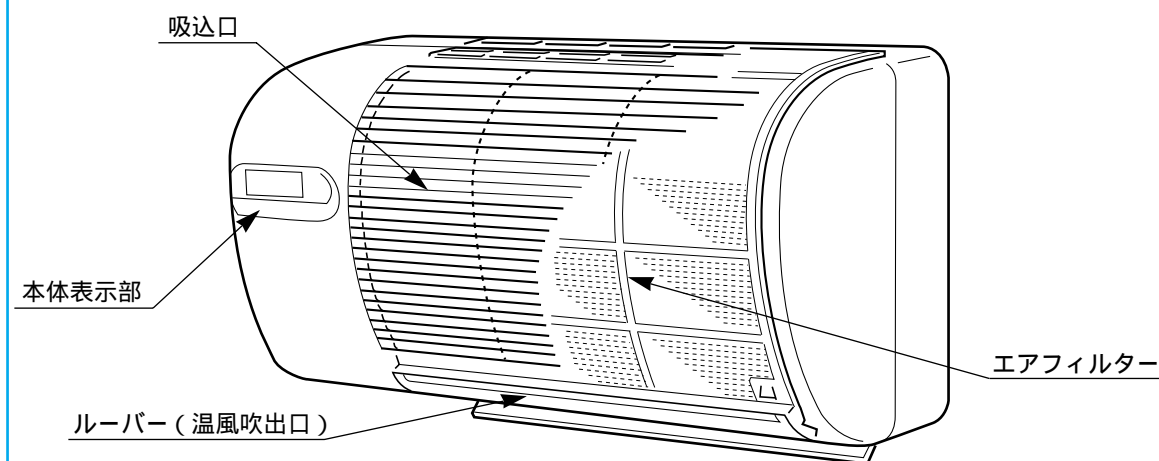
- 気温が低くなった時の、温水配管の破損を防止するため、本機が停止中でも自動的に熱源機内蔵の温水循環ポンプを運転し、配管内に温水を循環させます。
- 冬期には、熱源機、本機とも電源を切らないでください。凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。（詳しくは、熱源機の取扱説明書をご覧ください。）

温水式洗面室暖房機の使い方

洗面室を暖房することができます。また浴室暖房機と連動させ、自動で暖房運転させることができます。詳しくは温水式洗面室暖房機の取扱説明書をご覧ください。

洗面室の広さ、断熱状態、窓の有無等の使用条件により、室温が上昇しにくいことがあります。入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと洗面室が暖かくなります。

各部の名称とはたらき



運転モード表示部

イラストは説明のためのものです、実際の運転状態を示すものではありません。

温度設定ボタン

暖房運転時の温度設定に使用します。

予約暖房ボタン

予約暖房時に使用します。

時間設定ボタン

各モードの時間設定に使用します。

リモコンくさり

万一、リモコンを落としてしまった時、破損を防止するためのくさりです。

送信部

電池消耗表示

この表示が出たら電池を交換してください。

連動ボタン

浴室暖房機との暖房連動運転の「入/切」をする時に使用します。

暖房ボタン

暖房運転時に使用します。

涼風ボタン

涼風運転時に使用します。

風向切替ボタン

風向（ルーバー角度）を切り替える時に使用します。

停止ボタン

各モードの運転停止およびエラー停止の解除に使用します。

凍結予防運転

- 気温が低くなった時の、温水配管の破損を防止するため、本機が停止中でも自動的に熱源機内蔵の温水循環ポンプを運転し、配管内に温水を循環させます。
- 冬期には、熱源機、本機とも電源を切らないでください。凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。（詳しくは、熱源機の取扱説明書をご覧ください。）

オート暖房の使い方

給湯器リモコンから暖房運転を切り替えたり、湯張りに合わせて暖房運転を開始させることができます。詳しくは給湯器、給湯器リモコン、暖房機の取扱説明書をご覧ください。

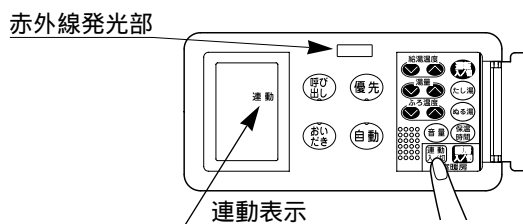
給湯器の種類により、給湯器リモコンのスイッチ名称や配置は異なります。

お湯張りと同時に浴室暖房機を暖房運転したいとき

INAXのシンクロオート対応の給湯器および給湯器リモコンとセットされた場合のみ使用できる機能です。電気式の場合は、UFD-14SA/14PSA、UFD-15SA/15PSAのみ使用できる機能です。

- 1 浴室側の給湯器リモコンの連動スイッチを押します。

表示画面に「連動」表示が点灯します。
連動スイッチの設定は、リモコンの運転スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。
連動を「切」にしたいときは、もう一度浴室リモコンの連動スイッチを押してください。



- 2 自動スイッチを押します。
自動スイッチを押すと、湯張りを始めると同時に浴室暖房機も自動で暖房運転を開始します。

ワンポイント

運転状態
温水式：風速「自動」、温度「高」、タイマー「2時間」
電気式：「入浴前暖房」、タイマー「前回の設定時間」

洗面室暖房機を連動させるとき

INAXのシンクロオート対応の給湯器および給湯器リモコン、浴室換気乾燥暖房機とセットにした場合のみ有効な機能です。

● 温水式の場合

- 1 洗面室暖房機リモコンを洗面室暖房機本体に向けて連動ボタンを押し、連動を「入」にします。
ブザーがピピピピッと鳴り、洗面室暖房機の給水/連動ランプが緑色に点灯し、連動運転待機状態になります。

- 2 浴室暖房機が暖房運転を開始すると、洗面室暖房機の運転ランプが緑色に点灯し、暖房運転がスタートします。

ワンポイント 運転状態は、風量「自動」、温度「高」、タイマー「浴室暖房機のタイマ - 時間」となります。

● 電気式の場合

- 1 給湯器リモコンの操作により、浴室暖房機を暖房運転させた場合に、洗面室暖房機も自動で暖房運転がスタートします。
洗面室暖房機の連動暖房ランプが点灯します。

ワンポイント 運転状態は、「標準暖房」、タイマー「2時間」となります。

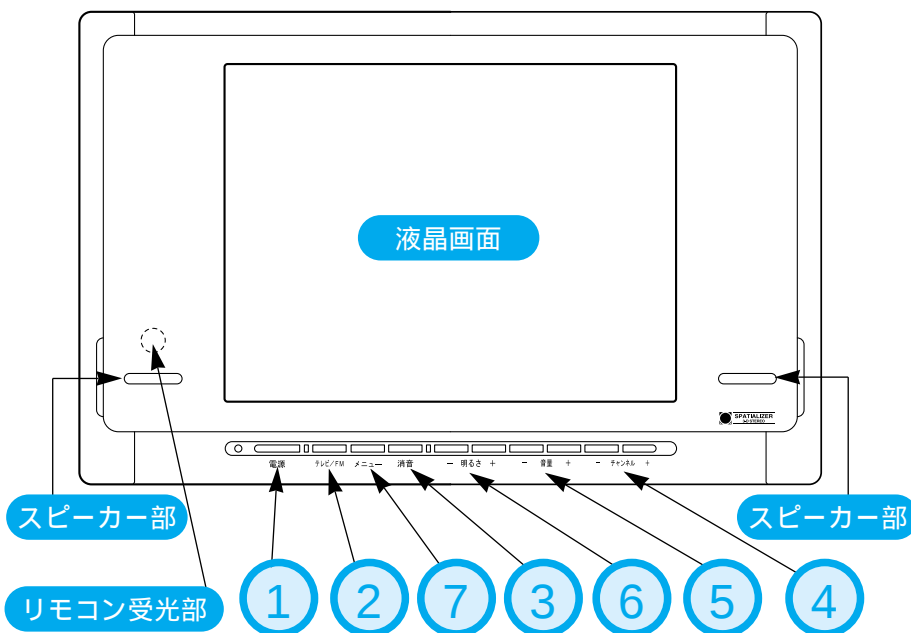
ワンポイント 給湯器の浴室リモコンからの赤外線信号を浴室暖房機が受光することでオート暖房を行います。浴室リモコンの赤外線発光部や浴室暖房機受光部を、風呂フタや手・タオル・洗濯物等で隠したりしないでください。

浴室テレビの使い方

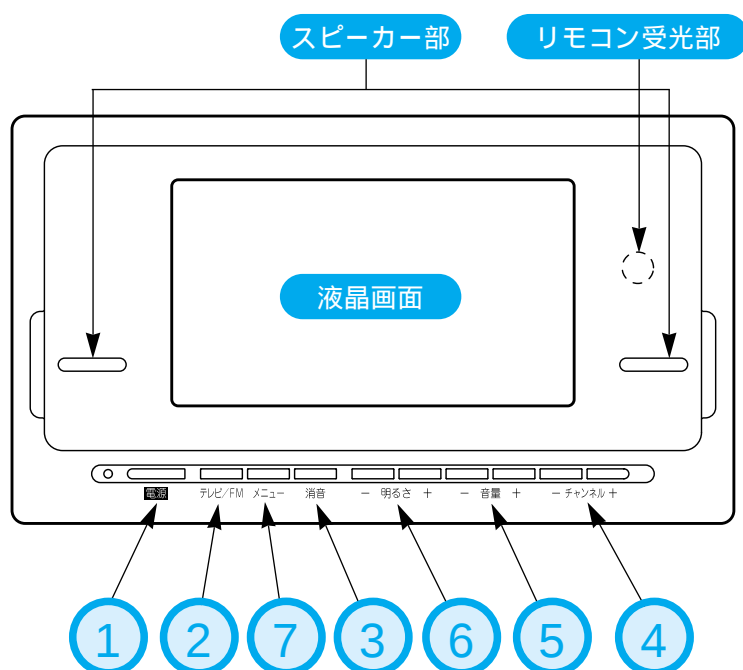
詳しくは浴室テレビの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

●テレビ本体(10型)



●テレビ本体(7型ワイド)



1 電源ボタン

一度押すと電源が入ります。
再度押すと電源が切れます。

2 テレビ/FMボタン

テレビ放送とFM放送/外部入力を切り替えます。

3 消音ボタン

- ・一時的に音を消します。
- ・各種設定画面において前の画面に戻ります。

4 チャンネルボタン

- ・チャンネルを順送りで変更します。
- ・各種設定において、項目を選択します。

5 音量調節ボタン

- ・音量を調節します。
- ・各種設定において、設定値を調節します。

6 明るさ調節ボタン

- ・明るさを調節します
- ・FM放送時は音質の項目を選択します。

7 メニューボタン

- ・各種設定メニューを呼び出します。
- ・各種設定において、項目を決定します。

お掃除シャワーの使い方

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

シャワーヘッドとお掃除ヘッドを交換するだけで、簡単にお掃除シャワーとしてご使用いただけます。シャワーの水圧によってブラシが回転するため、水で洗い流しながらお掃除ができます。

水圧が0.1MPa以下の場合は、回転力が不足してブラシが回らないことがあります。

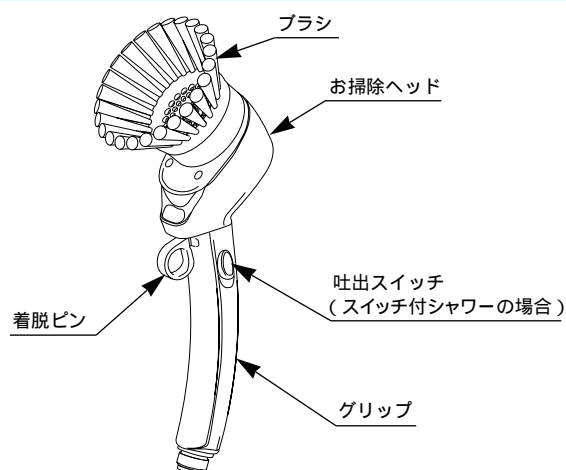
クレンザー・磨き粉を使用しないでください。

光沢のある樹脂製品に強く押し付けて使用するとキズがついたり、光沢を失う場合があります。

お掃除シャワーが使用できるタイプ以外は、取付けできません。

(マッサージシャワー等の機能との兼用はできません。)

交換部品についてはP.59をご覧ください。



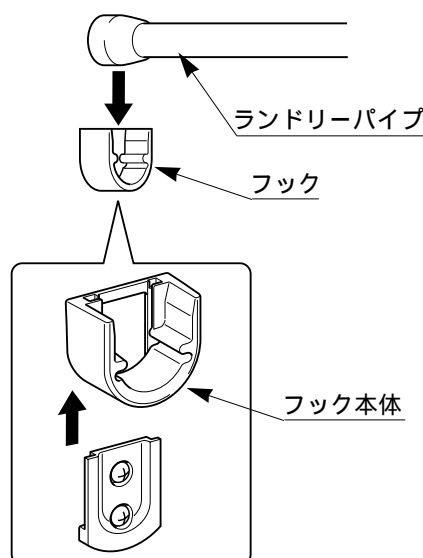
ランドリーパイプの取付け方

浴室で洗濯物を乾燥させるときに使用します。浴室壁にあるフックに確実にはめてご使用ください。

フック本体は上にスライドさせると取り外すことができます。

⚠ 注意

ランドリーパイプにぶら下がったり、強く引っ張らないでください。ケガの恐れがあります。洗濯物の安全荷重の目安は10キログラムです。



スイッチ付CC(塩素除去)シャワーの使い方

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。

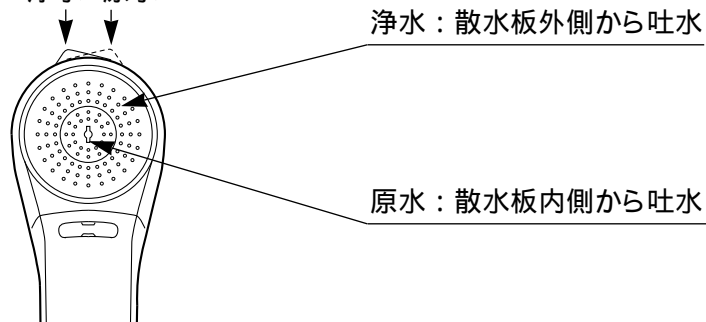
高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



各部の名称とはたらき

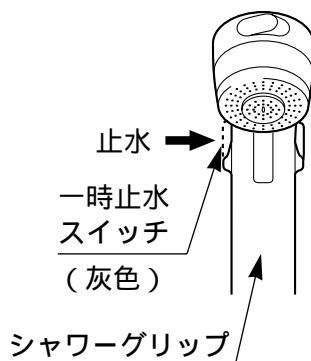
シャワーヘッド先端の切替スイッチで浄水-原水の切替えができます。

切替スイッチ — 浄水 原水



浄水：散水板外側から吐水

原水：散水板内側から吐水

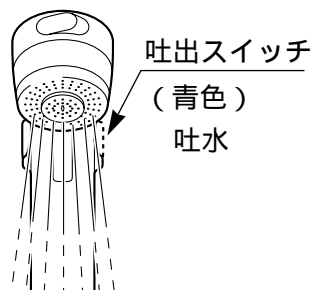


止水

一時止水
スイッチ
(灰色)

シャワーグリップ

シャワーの吐出を一時的に止めたいときは
シャワーグリップの一時止水スイッチ(灰色)
を押します。



吐出スイッチ
(青色)
吐水

吐出を再開したいときは吐出スイッチ
(青色)を押します。



ワンポイント

止水後も数秒間シャワーヘッド内からポタポタと水が垂れる場合がありますが、故障ではありません。

交換部品についてはP.59をご覧ください。

スイッチ付マッサージシャワーの使い方

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。

高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



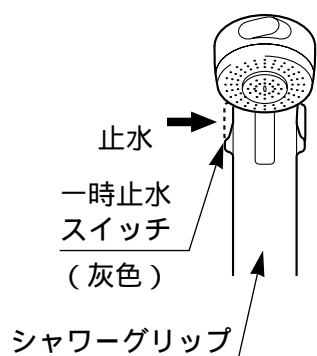
各部の名称とはたらき

シャワーヘッド先端の切替スイッチで切替えができます。

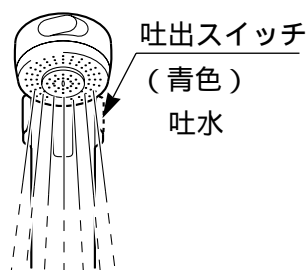
切替スイッチ — 通常 マッサージ

通常：散水板外側から吐水

マッサージ：散水板内側から吐水



シャワーの吐出を一時的に止めたいときは
シャワーグリップの一時止水スイッチ(灰色)
を押します。



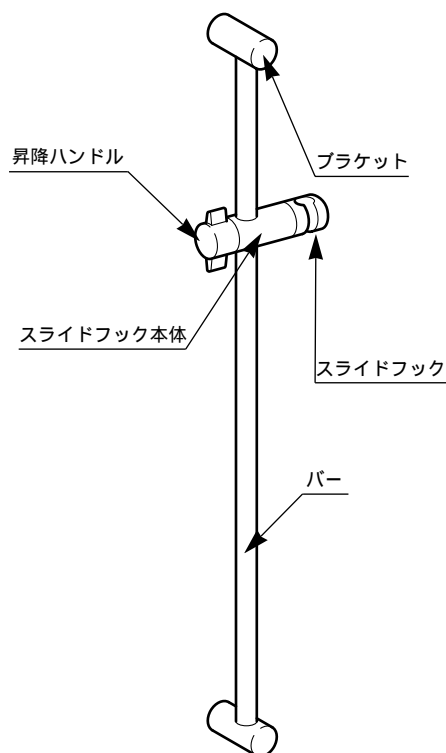
吐出を再開したいときは吐出スイッチ
(青色)を押します。



ワンポイント

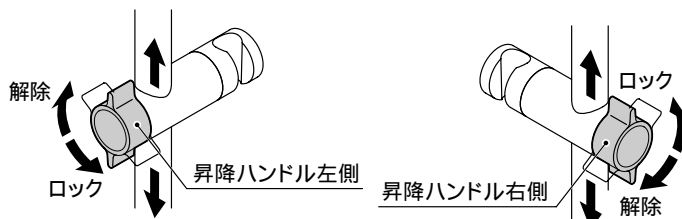
止水後も数秒間シャワーヘッド内からポタポタと水が垂れる場合がありますが、故障ではありません。

スライドフック付握りバーの使い方



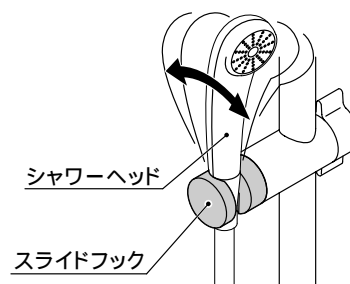
1 高さ調節

昇降ハンドルを解除側に回してスライドフック本体をご希望の位置に上下し、昇降ハンドルをロック側に回してスライドフック本体を固定してください。



2 散水方向調節

シャワーヘッドをスライドフックに掛けた状態で、シャワーヘッドを前後に動かして散水方向を調節してください。

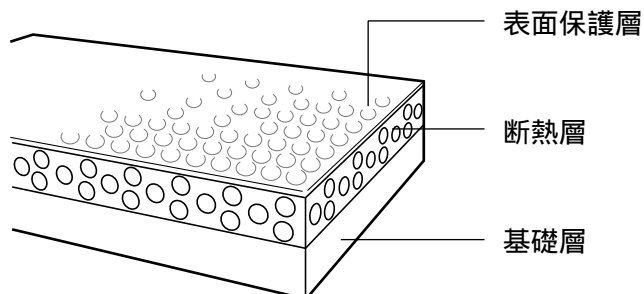


サーモフロアについて

●サーモフロアのしくみ

サーモフロアは床本体（基礎層）の上に、微細な中空バルーンを含んだ約2mm厚の独自の断熱層を重ねた構造を採用しています。

この断熱層の効果で従来の床に比べ床に触れたときに足裏から逃げる熱を抑え、浴室に入ったとき足に感じる「冷たさ」を軽減することができます。



シャワー・ド・バスの使い方

詳しくはシャワー・ド・バスの取扱説明書をご覧ください。

警告

必ず温度を確認してから使用してください。
高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



注意

アームの操作はゆっくりと、無理な力をかけないように行ってください。
壁とアームの間に指をはさんでケガをしたり、破損の原因となります。

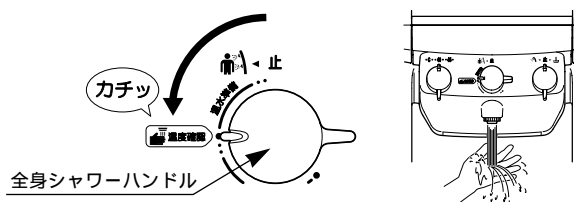


ハンドル操作の急閉止はおやめください。
ウォーターハンマー（衝撃音）が発生することがあります。
配管から漏水をおこし、家財等をぬらす原因となります。



1

全身シャワーハンドルを左へゆっくり回すと、
温度確認 表示位置でいったん止まり、配管内の冷水が吐水口より排出されますので、手で温度を確認してください。



ワンポイント

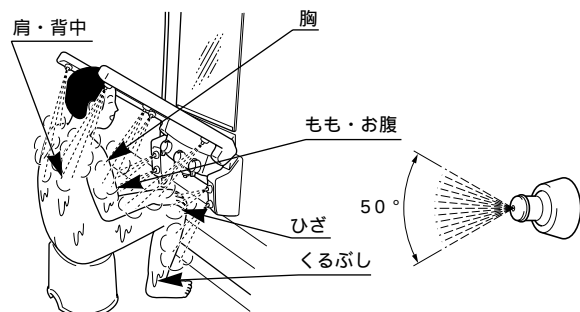
冷水は吐水口から排出されますので、水はねしないように洗面器等で受けることをお勧めします。

2

ノズルからの噴霧が顔にかからない位置までアームの角度を調節します。全身シャワーハンドルを左へゆっくり回すと、ノズルよりお湯が噴霧されます。

3

アームをお好みの位置に合わせます。
ノズルの角度を調節します。



ワンポイント

全身シャワーでは、ハンドシャワーや吐水に比べ温度が低く感じられます。

4

全身シャワーハンドルの凸部を表示の「止」マークに合わせ、止水します。

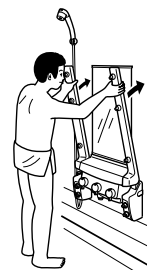


ワンポイント

止水後、シャワー・ド・バス内の残水排水のため、しばらくの間ノズルよりお湯が排出されます。

5

ご使用後は壁面へアームを立てかけ収納します。



お手入れ方法

入浴後のお手入れ

洗剤や洗剤に溶け込む人体の油脂類等が壁に飛び散り、付着しますと、カビの発生の原因となります。壁、床にシャワーで熱めのお湯をかけ、汚れを洗い落としてください。その後水のシャワーをかけ、室内の温度を下げます。使用したバスタオル等で壁、床の水滴をふきとり、換気扇や窓を開け換気を充分にとってください。

日頃のお手入れ

共通事項

- ・ クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは、アンモニア、苛性ソーダ、塩酸等の薬品は使用しないでください。カビ取り剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで、正しくお使いください。キズ、変色等の原因になります。
- ・ カビ取り剤等アルカリ性の薬品を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで正しくお使いください。また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。

壁・天井のお手入れ

1週間に1度程度、うすめた浴室用合成洗剤（中性）をスポンジ等柔らかいものに付けて洗い、よくシャワーで洗い流し、換気を充分とってください。金属タワシ等でこするとキズの原因になります。また1ヶ月に1度程度、天井も壁と同様に長い柄付スポンジ等で汚れをふきとってください。



ワンポイント 汚れたまま放置しますと付着したカビが材料内部へ入り込みふきとれなくなる場合があります。

浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

入浴後の湯等を放置しますと、浴槽の内面や床に緑青（金属石けん）や白い汚れ（カルシウム石けん）が付いてとれなくなることがあります。市販のクリームクレンザーを使用して磨けば落ちます。しかしクレンザーを多用しますと表面が荒れたり、光沢が失われますので、入浴後はできるだけすみやかに、排水、掃除をしてください。また、著しくカビが発生しているときは市販のカビ取り剤をお使いください。



お願い

漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。



ワンポイント

- ・ お手入れの際の浴室用合成洗剤（中性）は泡切れのよいもの（例えば花王（株）社製：バスマジックリン）を使用いただきますと、シャワーで洗い流す回数が少なく、経済的です。
- ・ 浴槽底面にたまった細かな砂、金属等はよく洗い流してください。放置すると表面をキズつけたり、変色、サビの発生の原因となります。

ドアのお手入れ

浴室用合成洗剤（中性）を柔らかい布に付けて、ふき洗いしてください。
 ドアやドアの下、ドアの廻りのパッキン等、汚れがひどい場合は、歯ブラシ等にうすめた浴室用合成洗剤（中性）を付けて洗ってください。
 洗剤で洗った後は、洗剤が残らないように、湿らせた布でよくふきとってください。
 ガラリ部分（空気取入口）も目詰まりしないよう、こまめに掃除機等で清掃を行ってください。
 ドアを洗う場合に、ドアに直接水をかけないようにしてください。ドア外へ水が飛散する場合があります。
 また、ドア枠にたまったゴミはこまめに取りのぞいてください。キズの原因となります。

鏡・洗面器台・点検口・窓枠のお手入れ

浴室用合成洗剤（中性）をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。
 ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
 シャワーの水滴がカウンタ - に滴下、乾燥を繰り返すうち、水道水中の水アカがカウンタ - に付着してとれなくなることがあります。こまめにカウンタ - 上の水残りはふきとってください。
 硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。キズがつきます。
 カウンタ - 周りの突起や角に注意してください。

⚠ 注意

浴槽とカウンタ - のすき間に指をはさまないように注意してください。
 ケガをする恐れがあります。

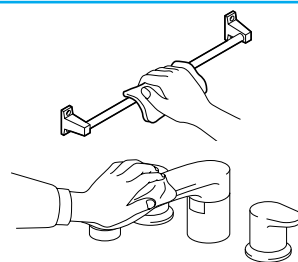


ワンポイント

鏡の表面の白濁した汚れは、車用ワックスを柔らかい布等に付けて、ふきとってください。ふいたあとはよく乾かしてください。

水栓・タオル掛のお手入れ

水栓、タオル掛は週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。
 硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。
 キズがついたり、メッキがはがれたりします。
 アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
 メッキを傷めます。
 水栓については各取扱説明書を参照ください。



床まわりの目地材（またはコ - キング材）のお手入れ

床まわりの目地材（またはコ - キング材）は少なくとも週1回は布またはスポンジにうすめた浴室用合成洗剤（中性）をつけて、汚れをふきとってください。
 また、目地材に著しくカビが発生しているときは市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。
 床にカビ取り剤等が付着すると変色する恐れがありますので、シート等で床を保護してください。
 薬剤を使用する場合は、必ず薬剤の取扱説明書を読んで正しくお使いください。
 床まわりの目地材（またはコ - キング材）が切れたりはがれたりしている場合、漏水する恐れがあります。目地材が切れたりはがれたりしている場合は、修理を依頼してください。（P.68）

収納部のお手入れ

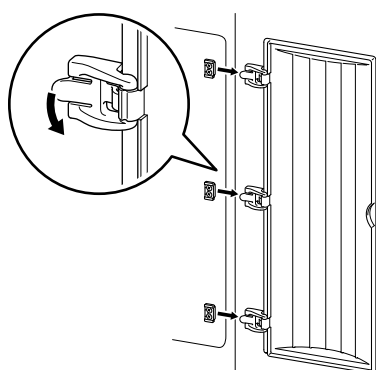
汚れは、乾いた布でふきとってください。汚れがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤（中性）をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水洗いしてください。

間仕切収納、掃除道具収納の扉は取り外して洗うことができます。

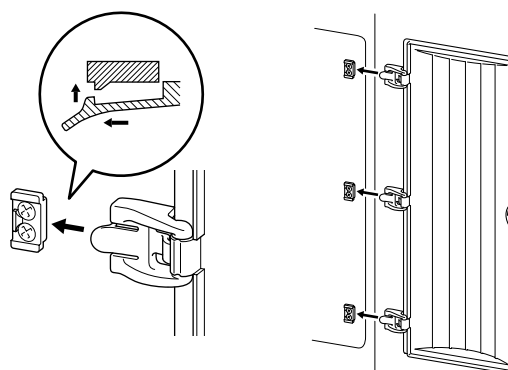
● 間仕切収納の場合

扉はヒンジ受けのツメの部分を持ち上げながら手前に引いて取り外します。

お手入れ後は取外しと逆の手順で取り付けます。ヒンジ受けは「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。



〔取外し方〕

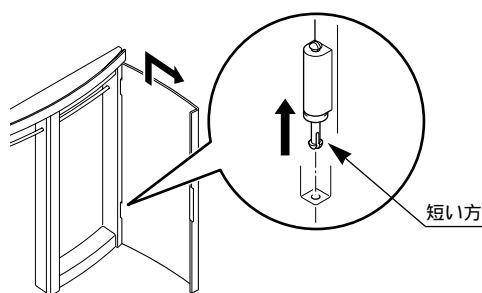


〔取付け方〕

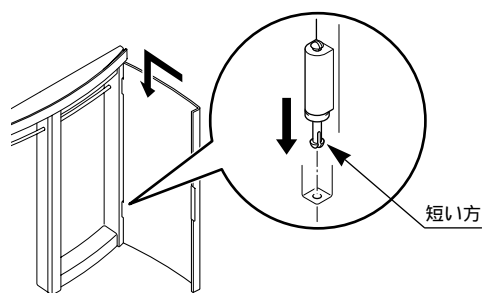
● 掃除道具収納の場合

扉を上を持ち上げて取り外します。

お手入れ後は取外しと逆の手順で取り付けます。



〔取外し方〕



〔取付け方〕

⚠ 注意

- お手入れ後は必ず元の位置に取り付けてください。
扉が外れたり収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。
- 扉等で指をはさまないように注意してください。
ケガをする恐れがあります。
- S字フックをお使いの場合はムリな力や重い物をかけないでください。
安全荷重の目安は3キログラムです。



タイルの目地のお手入れ

壁タイルの目地材は、汚れの付着しにくいス - パ - クリ - ン目地を採用していますが、入浴後はお湯をかけ汚れを洗い落とし、少なくとも週1回は布またはスポンジに浴室用合成洗剤（中性）をつけて、目地部の汚れをふきとり、水洗いしてください。

また、目地に著しくカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。

床にカビ取り剤等が付着すると変色する恐れがありますのでシート等で床を保護してください。

また、防カビ剤を塗布しますと、カビの発生が少なくお手入れが楽になりますが、アルカリ性の洗剤を使用した場合は、使用後きちんと水で洗い流してください。床を傷める場合があります。

お願い 漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

握りバーのお手入れ

汚れは、乾いた柔かい布でふきとってください。汚れがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤（中性）をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水洗いしてください。

浴槽への自動湯張り、追いだき循環口のお手入れ

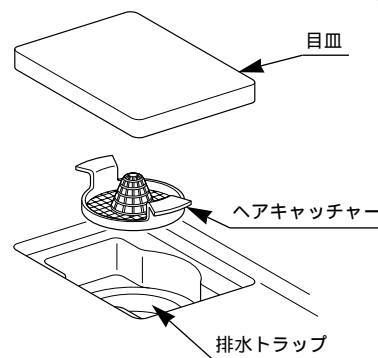
自動湯張り、追いだき循環口は給湯器の部品ですので、別途、各機器の取扱説明書を参照ください。

床排水トラップのお手入れ

目皿とヘアキャッチャーを取り外し、ヘアキャッチャーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

ゴミ等は週に1度は取り除いてください。

取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



浴槽排水口のお手入れ

(排水口のゴミ等は、週に1度は取り除いてください。)

● ゴム栓の場合

1

ヘアキャッチャーのつまみをつまんで取り出しゴミを取り除いてください。

取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。

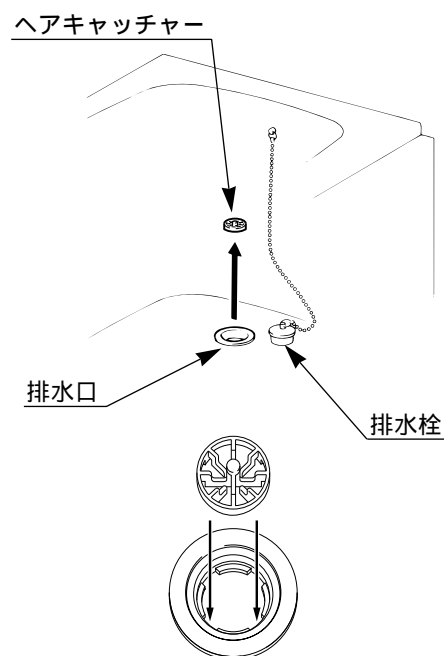
排水管の詰まりの原因となります。

2

ヘアキャッチャーを排水口に取り付けます。

斜めに浮いた状態にならないよう排水口底面にきちんと押し当ててください。

押し込みが不十分な場合は浴槽の湯張りができなくなります。



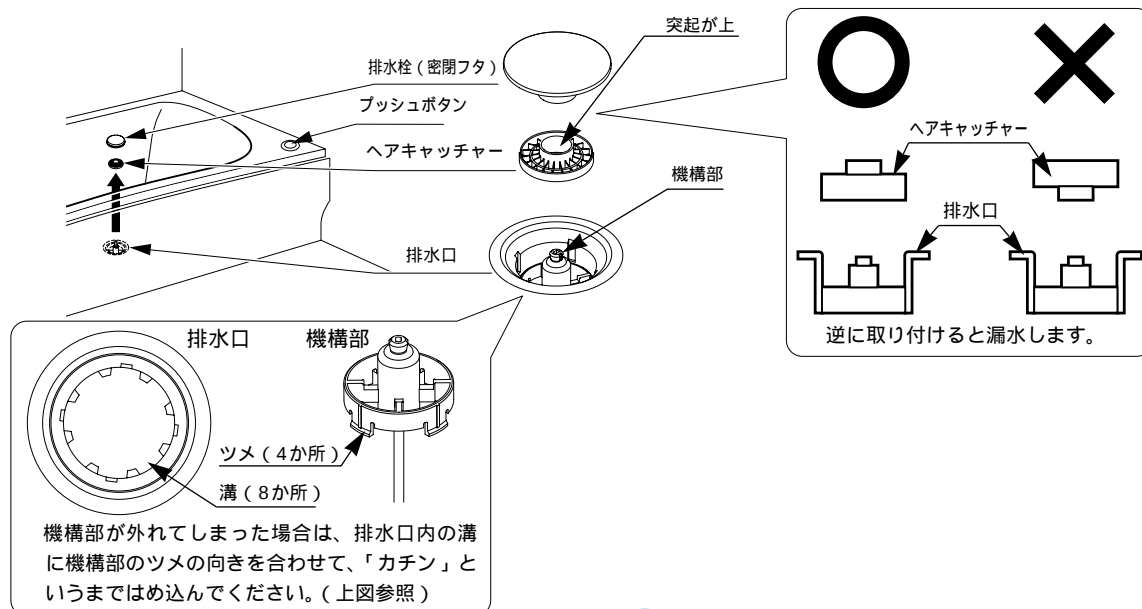
● 内蔵型排水栓・オート排水栓の場合

1

排水栓(密閉フタ)をまっすぐ上に引っ張って取り外します。

2

排水口からヘアキャッチャーを取り外します。



3

ヘアキャッチャーについているゴミを取り除き、ヘアキャッチャーの突起を上にして取り付けます。

取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

4

排水栓(密閉フタ)を排水口に取り付け、プッシュボタンを押して開閉を確認します。

排水栓(密閉フタ)は、「カチン」というまではめ込んでください。

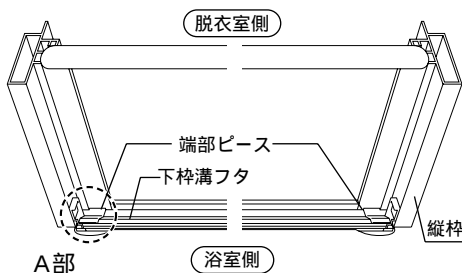
ドア下排水口がある場合、以下の手順でお手入れをしてください。

折り戸・開き戸（親子開き戸共通）の排水溝のお手入れ

折り戸の場合（親子折り戸共通）

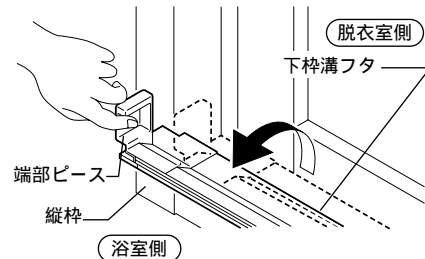
下枠部を清掃する場合の下枠溝フタの外し方

- ドアを全開にします。
- 端部ピースに指先をかけて、下枠溝フタを外します。取り付けの際は、逆の要領で行ってください。



■ A部詳細図

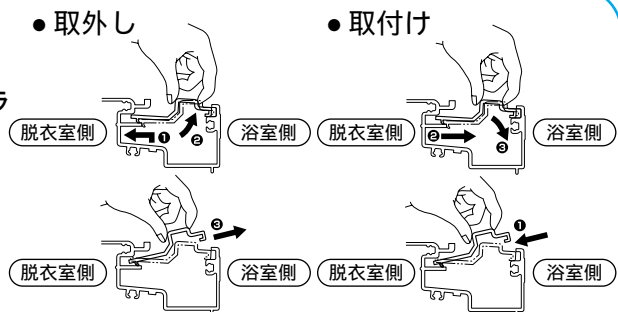
端部ピースに指先をかけて、上に引き上げながら、浴室側に向けて取り外します。



開き戸（親子開き戸共通）の場合

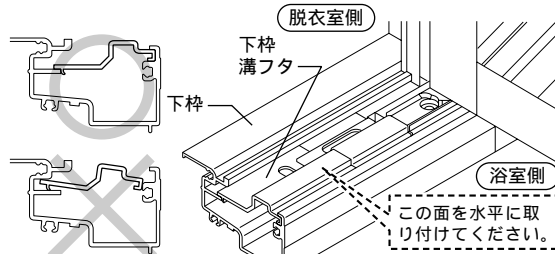
下枠部を清掃する場合の下枠溝フタの外し方

- ドアを全開にします。
 - 下枠溝フタをつまんで脱衣室側をもち上げてスライドします。
 - 浴室側を引き上げます。
 - 浴室側へ向けて取り外します。
- 取り付けの際は、逆の要領で行ってください。



⚠ 注意

下枠溝フタを右図の様に正しく取り付けてください。正しく取り付いていないと漏水の原因になります。



清掃時のお願い

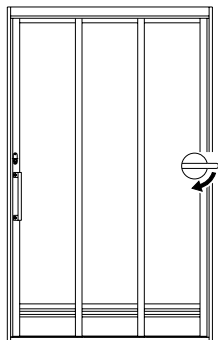
- 下枠部の洗浄は中性洗剤以外は使用しないでください。排水部品が損傷し、漏水の原因になります。
- 下枠溝にたまったゴミは毛先の柔らかな使い古しの歯ブラシ等を使って取り除いてください。
- ゴミは排水溝の排水口へは、流さないでください。排水管が詰まり、脱衣室側への漏水の原因となります。
- 下枠部の清掃は定期的に行ってください。

片引き戸・3枚引き戸の排水溝のお手入れ

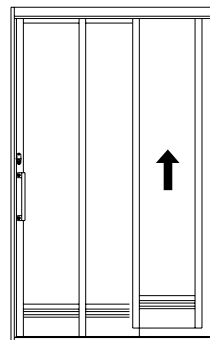
ドア下排水口がある場合、以下の手順でお手入れをしてください。（片引き戸の場合は扉を外さずにドアを全開にすればお手入れできます。）

下カバーの外し方

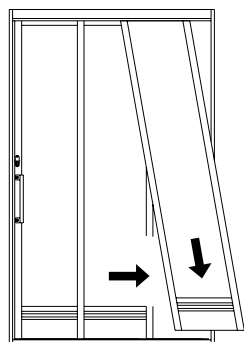
- 1 固定側扉のロックツマミを回して解錠します。



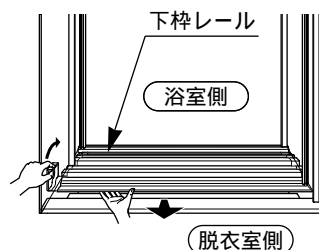
- 2 扉を持ち上げます。



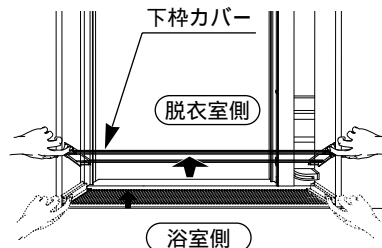
- 3 下部を手前に引きながら下すと扉が外れます。この手順で全て外してください。



- 4
- 3枚引き戸の場合
下枠レールのフックに指をかけて引き上げ、脱衣室側に向けて引き上げて取り外します。



- 片引き戸の場合
下枠カバーのフックに指をかけて引き上げ、取り外します。



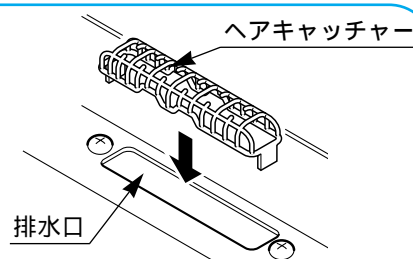
- 5 レールやドア枠のゴミを取り除いてください。

- 6 お手入れの後は、取外しと逆の手順で取り付けます。
取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。
排水管詰まりの原因になります。

ワンポイント

全ての扉の扉下排水口には、ヘアキャッチャーがついています。排水口のお手入れの際は、ヘアキャッチャーを取り外してゴミを取り除いてください。お手入れの後は、ヘアキャッチャーを忘れずに取り付けてください。

ヘアキャッチャーのツメを排水口に確実に取り付けてください。



念入りなお手入れ

壁パネルのお手入れ

浴室用合成洗剤（中性）をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。

硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。キズがつきます。



ワンポイント

入浴後に壁パネル等に付着した泡等を熱めのシャワーで洗い流してください。その後水のシャワーをかけ、室内の温度を下げます。よく乾燥させるとカビが発生しにくくなります。

天井・照明グローブのお手入れ

浴室用合成洗剤（中性）をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。

硬いものでたたいたり、ぶついたりしないでください。

キズがつきます。

換気扇、換気乾燥暖房機、温水式換気乾燥暖房機のお手入れ

詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

警告

火事・ケガについての警告

修理技術者以外の方は、絶対にルーバー以外は分解したり修理・改造は行わないでください。

発火したり異常動作してケガをする恐れがあります。



感電・ケガについての警告

換気扇や換気乾燥暖房機のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。

感電やケガをする恐れがあります。



注意

故障・漏電に注意

換気扇や換気乾燥暖房機に水をかけないでください。

故障や漏電する恐れがあります。



ヤケドに注意

換気乾燥暖房機の場合、運転停止後はすぐにヒーター等本体にふれないでください。

ヤケドをする恐れがあります。



ケガに注意

高い所での作業になります。ホコリの落下と足場には十分にご注意ください。浴槽やカウンタ-の上のって作業をしないでください。

転倒してケガをする恐れがあります。



ルーバーやエアフィルターは確実に取り付けてください。

落ちてケガをする恐れがあります。



ゴム手袋を使ってお手入れしてください。ケガをする恐れがあります。



クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸等の薬品は使用しないでください。

キズ、変色等の原因になります。

また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。



長くお使いいただくために

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

ストレーナーのお手入れ

ストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

逆止弁のストレーナー掃除

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

ストレーナーを掃除する際、配管、カウンター、取付金具に注意してください。
ケガをしたりヤケドをする恐れがあります。



●サーモスタット付水栓（埋込タイプ）の場合

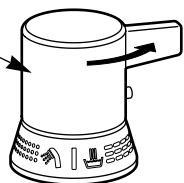
1

屋外に設置された止水栓を閉じます。
止水栓を閉じると、住戸全体の水が止まりますのでご注意ください。
安全のため、すべての水栓は閉じておいてください。

2

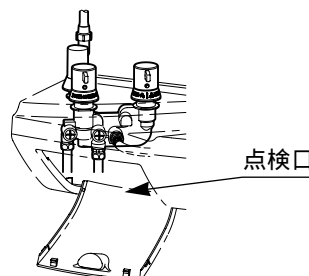
シャワー・吐水口切替ハンドルを吐水側いっぱい回します。

シャワー・吐水口
切替ハンドル



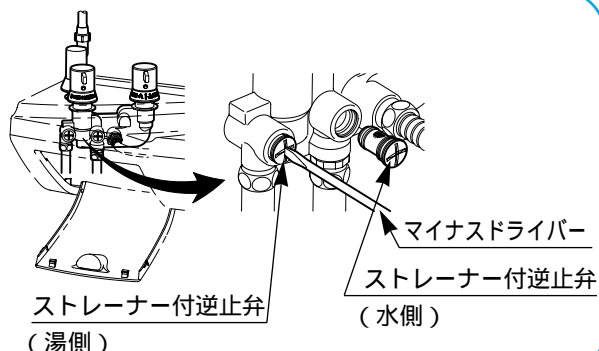
3

カウンターの点検口を開きます。



4

大型のマイナスドライバー等でストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。ストレーナーは、湯側（左）と水側（右）の両方に付いています。



5

組付けは逆の手順で行い、シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、屋外に設置された止水栓を元の位置に戻し通水します。

長くお使いいただくために

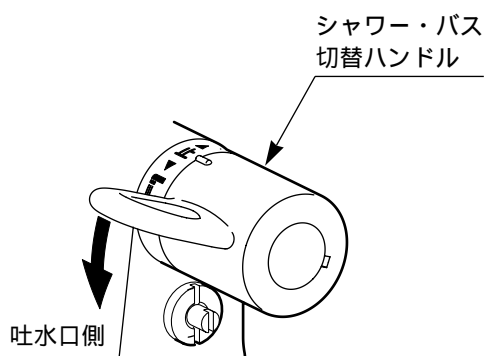
●サーモスタット付水栓（デッキ兼用タイプ）の場合

1

屋外に設置された止水栓を閉じます。

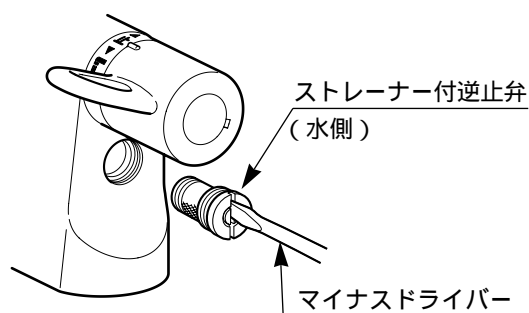
2

シャワー・バス切替ハンドルを吐水側
いっぱい回します。



3

大型のマイナスドライバー等でストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。ストレーナーは、湯側（左）と水側（右）の両方に付いています。



湯側は左側にあります。

●サーモスタット付水栓（壁付兼用タイプ）の場合

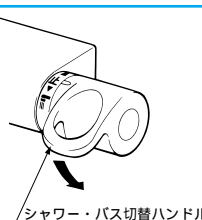
1

湯側（左）と水側（右）の流量調節栓を時計回りいっぱいねじ込みます。



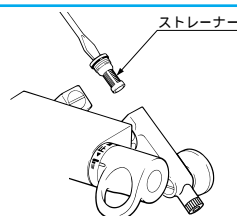
2

シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。



3

大形のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。



4

組付けは逆の手順で行い、屋外に設置された止水栓を元の位置に戻し通水します。



ワンポイント

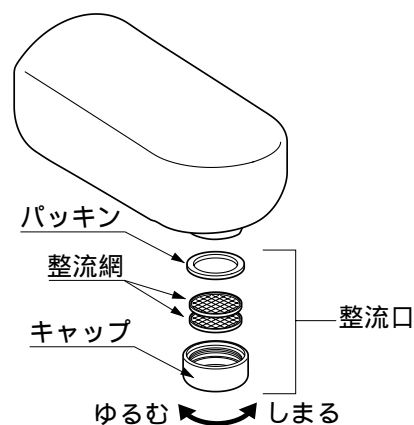
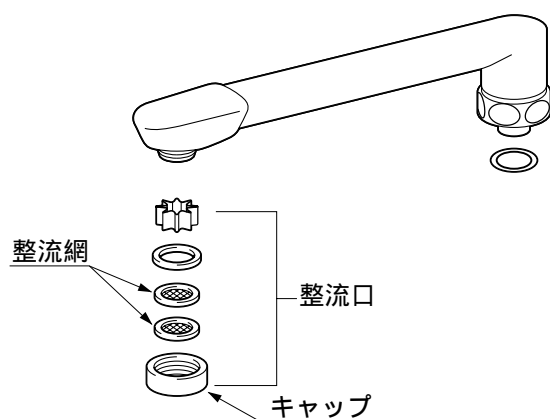
止水栓を開け閉めしますと、配管中に付着したゴミが流れ出し、再度ストレーナーの目詰りを発生させる場合があります。ゴミを取り除いたストレーナーは逆止弁をもとに戻す前に止水栓をごくわずかにあけ、ゴミを洗い流した後、止水栓を閉じ、ストレーナーを逆止弁に取り付けてください。

整流口のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網のゴミ等を取り除き、水洗いしてください。

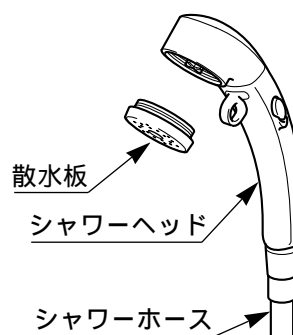
整流網を逆向きに取り付けると組み付けられません。



シャワー散水板のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

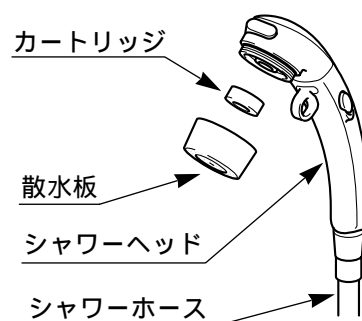
手で散水板を回して取り外し、ため水ですすぎ、ゴミを洗い流します。



スイッチ付CCシャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。

ワンポイント

散水板にゴミが詰まると、止水後もポタポタとシャワーヘッドから水が垂れることがあります。この場合はシャワー散水板のゴミを取り除いてください。



長くお使いいただくために

照明用ランプの交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合はランプが切れていることが考えられます。

電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。

交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。



警告

感電・ケガについての警告

ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
感電やショートする恐れがあります。



ぬれた手で交換作業をしないでください。
感電やケガをする恐れがあります。



感電・火災についての警告

ランプの交換以外の照明器具の分解、改造は絶対に行わないでください。
感電や火災、ショート、故障の原因になります。



故障・漏電についての警告

照明カバーを外した状態で照明器具に直接水をかけないでください。
故障や漏電をする恐れがあります。



ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
火災の原因になります。



ランプおよびゴムパッキン、キャップ等の部品は確実に取り付けてください。
感電、ケガ、故障、動作不良の原因となります。



ケガについての警告

ランプの交換は高いところでの作業になります。足場に十分ご注意ください。
浴槽の上によって作業をしないでください。
ケガをする恐れがあります。



照明カバーは確実に取り付けてください。
落下してケガをする恐れがあります。



ヤケドについての警告

ランプが切れてもすぐに交換しないでください。
器具やランプが熱くなっており、ヤケドをする恐れがあります。



円筒形・天井付照明の白熱ランプの交換

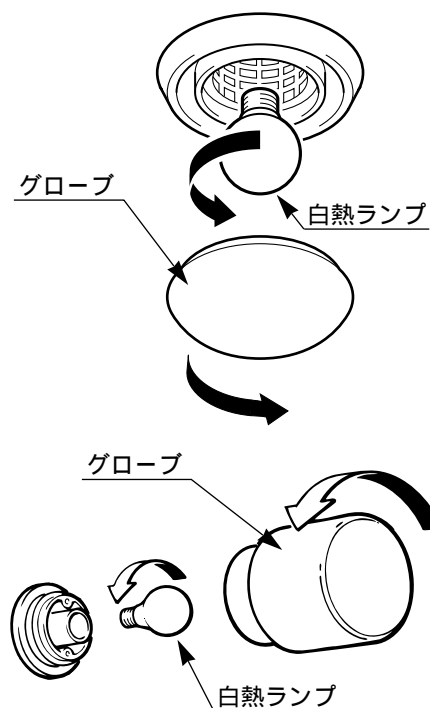
1. 照明スイッチを切ります。
2. グローブを左に回して取り外します。
3. ランプを取り外し、新しいもの（白熱ランプ）に交換します。
4. グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
5. 照明スイッチを入れて点灯することを確認します。

適合ランプについて

本体表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	お勧め交換ランプ
シリカ電球 60W形	LW100V54W



天井付照明の蛍光ランプの交換

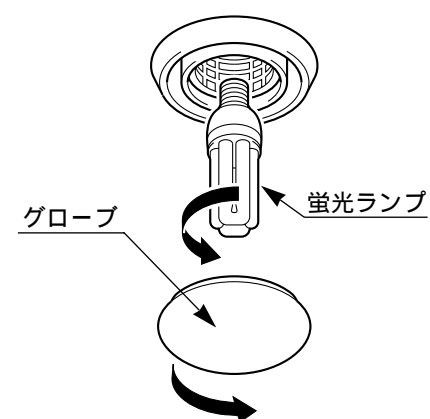
1. 照明スイッチを切ります。
2. グローブを左に回して取り外します。
3. ランプを取り外し、新しいもの（蛍光ランプ）に交換します。
4. グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
5. 照明スイッチを入れて点灯することを確認します。

適合ランプについて

本体表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	お勧め交換ランプ
電球形蛍光ランプ（D形）22W形	EFD25EL/21



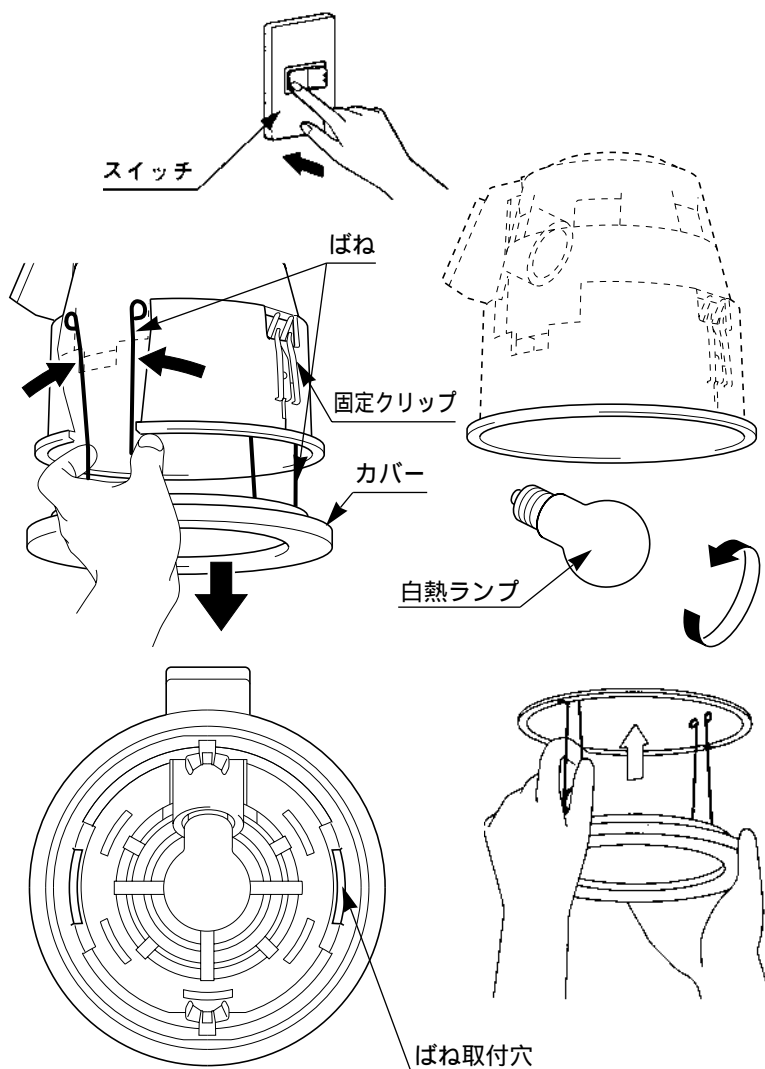
⚠ 注意

蛍光灯照明器具には白熱灯を取り付けないでください。
火災の原因になります。



ダウンライトの白熱ランプの交換

- ①照明のスイッチを切ります。
- ②カバーを引き下げ、ばねをせばめながら取り外します。
- ③ランプを取り外し、新しいもの（白熱ランプ）と交換します。
- ④カバーのばねをせばめながら、照明内のばね取付穴に差し込み、カバーを上方に押し上げて固定します。
- ⑤照明スイッチをONにして点灯することを確認してください。



⚠ 注意

固定クリップのツマミ部分が本体内側にありますので注意してください。

固定クリップの位置は動かさないでください。
本体が天井から外れる恐れがあります。



適合ランプについて

本体表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	お勧め交換ランプ
ミニクリプトン電球 60W形 (E17口金)	KR100V54W/W

交換部品のご案内

INAXでは、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。

交換部品について

CC(塩素除去)シャワーのカートリッジ

詳しくは、CC(塩素除去)シャワーの取扱説明書をご覧ください。

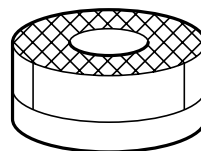
交換部品名称	交換部品品番	税込価格(送料別途)
CCシャワー交換用 カートリッジ(2個入り)	KS-6E	2,940円

カートリッジは標準的な水道水で約4000L使用できます。

(1日に60L使用した場合、約2ヶ月です。)

次の場合はカートリッジを交換してください。

- カルキ臭がしてきた時
 - 汚れた水が出たり、カートリッジが著しく汚れた時
 - シャワーの水量が著しく減った時
 - 長時間(夏期1ヶ月、冬期2ヶ月)使用しなかった時
- 交換時期は使用水量、水質、水圧、水温によって短くなる
ことがあります。

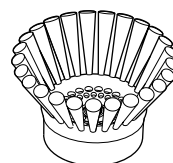


お掃除シャワーのブラシ

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

INAXでは、お客さまご自身で交換可能な部品(ブラシセット)を用意しています。

交換部品名称	交換部品品番	税込価格(送料別途)
ブラシセット(2個入り)	SJS-BR1	2,310円



注意

ブラシには、毛を植えるための金属が埋め込まれています。廃棄される場合は、燃えないゴミとして廃棄してください。

交換部品の購入方法

上記の交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
INAX商品の販売店、または お近くのINAXショールーム でお求めください。	(株) INAXメンテナンス宅配サービスにて承ります。 (宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。)  0120-00-1794 受付時間9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

冬期凍結の恐れがある場合

サーモスタット付水栓（埋込タイプ）の水抜き

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

水抜き操作を行う前にご家庭の止水栓を閉じます。

● スイッチシャワー止水バルブの開放〔スイッチシャワー付の場合〕

- 1 シャワーヘッドをフックに掛けます。
スイッチシャワーの吐出スイッチ（青色）を押して、シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー（）』側へ回し、シャワーヘッドから水を出します。

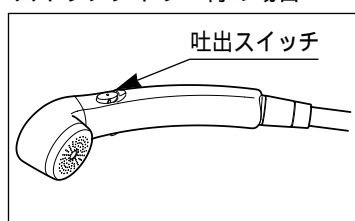
- 2 シャワー・バス切替ハンドルを止水位置に戻します。

● 水抜き操作

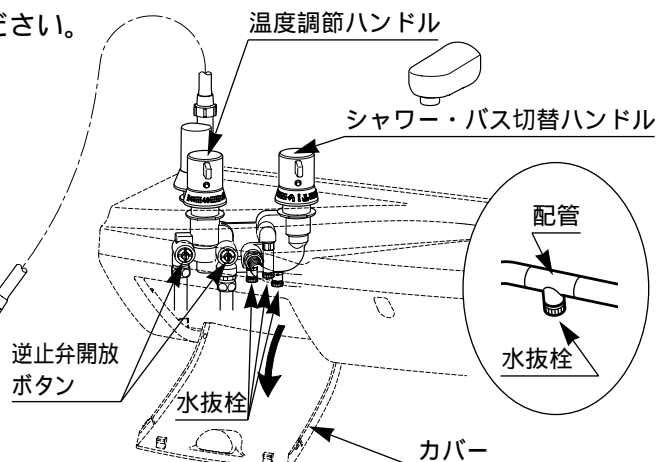
- 1 ご家庭の水抜栓で水抜き操作をします。
- 2 シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。
- 3 カバーを開け、逆止弁開放ボタン（2個）を押して、金具本体の水抜栓（3個）と配管の水抜栓（2個）をあけます。
- 4 シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。
- 5 温度調節ハンドルを数回「C」側から「45」側まで回します。
- 6 シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

再通水時には水抜栓（5個）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40 以下に戻してください。

スイッチシャワー付の場合



シャワーヘッド



サーモスタット付水栓（デッキ兼用タイプ）の水抜き

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

水抜き操作を行う前にご家庭の止水栓を閉じます。

●スイッチシャワー止水バルブの開放〔スイッチシャワー付の場合〕

1 シャワーヘッドをフックに掛けます。
スイッチシャワーの吐出スイッチ（青色）を押して、シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー（）』側へ回し、シャワーヘッドから水を出します。

2 シャワー・バス切替ハンドルを止水位置に戻します。

●水抜き操作

1 ご家庭の水抜栓で水抜き操作をします。

2 シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。

3 逆止弁開放ボタン（2個）を押します。

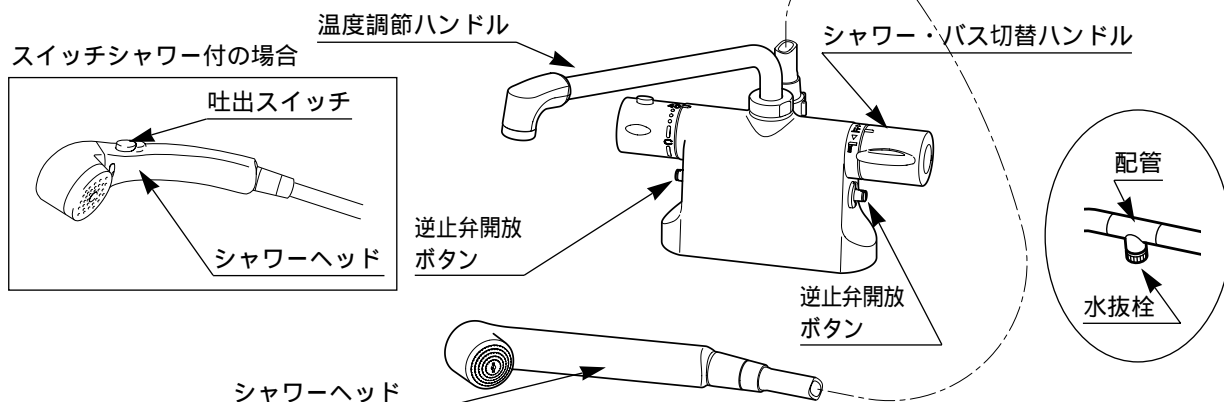
4 カバーを開け、配管の水抜栓（2個）をあけます。

5 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

6 シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。

7 シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

再通水前には、水抜栓（2個）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40 以下に戻してください。



サーモスタット付水栓（壁付兼用タイプ）の水抜き

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

水抜き操作を行う前にご家庭の止水栓を閉じます。

● スイッチシャワー止水バルブの開放〔スイッチシャワー付の場合〕

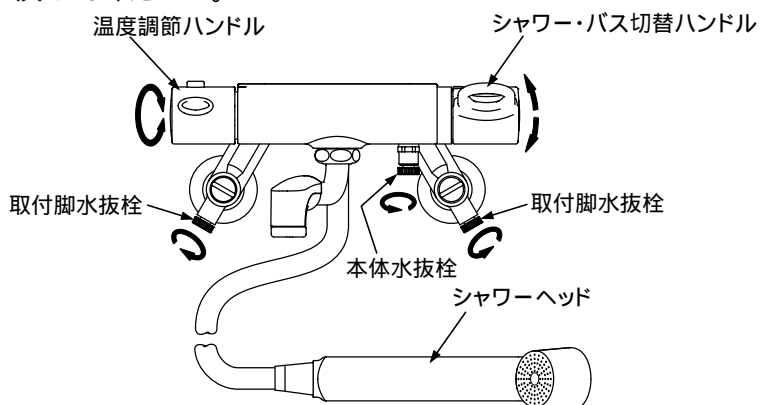
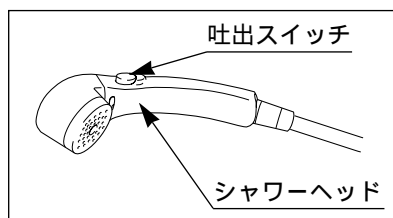
- 1 シャワーヘッドをフックに掛けます。
スイッチシャワーの吐出スイッチ（青色）を押して、シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー（）』側へ回し、シャワーヘッドから水を出します。
- 2 シャワー・バス切替ハンドルを止水位置に戻します。

● 水抜き操作

- 1 ご家庭の水抜栓で水抜き操作をします。
- 2 シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。
- 3 取付脚の水抜栓（2個）をあけます。
- 4 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。
- 5 本体の水抜栓（1個）をあけます。
- 6 シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。
- 7 シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

再通水前には、水抜栓（3個）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。

スイッチシャワー付の場合



浴槽側水栓の水抜き

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

水抜き操作を行う前にご家庭の止水栓を閉じます。

壁付ツーハンドル水栓

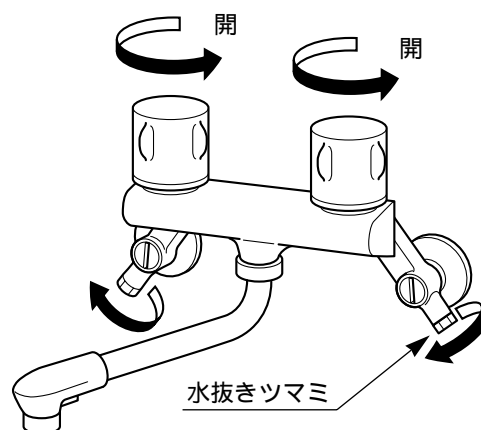
● 水抜き操作

1 ご家庭の水抜き栓で水抜き操作をします。

2 湯側ハンドル、水側ハンドルをあけます。

3 取付脚の水抜き栓（2個）をあけます。

再通水前には、水抜き栓（2個）を閉めてください。



壁付定量止水サーモスタット付水栓

● 水抜き操作

1 ご家庭の水抜き栓で水抜き操作をします。

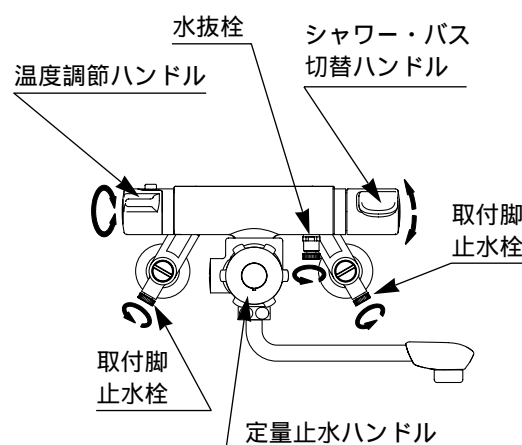
2 取付脚の水抜き栓（2個）をあけます。

3 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

4 本体の水抜き栓（1個）をあけます。

5 定量止水ハンドルを連続吐出側（ON）に回します。

再通水前には、水抜き栓（2個）を閉じて温度調節ハンドルを40以下に戻してください。



ツーハンドルデッキ水栓

● 水抜き操作

1 ご家庭の水抜き栓で水抜き操作をします。

2 湯側ハンドル、水側ハンドルをあけます。

3 カウンターのカバーをあげ、配管の水抜き栓（2個）をあけます。

再通水前には、水抜き栓（2個）を閉めてください。



故障かな？と思ったら

天井換気扇・電気式換気乾燥暖房機・温水式換気乾燥暖房機・電気式洗面室暖房機・温水式洗面室暖房機については各取扱説明書をご覧ください。

給湯器および給湯器のリモコンの異常については給湯器の取扱説明書または給湯器メーカーをご確認のうえ、給湯器メーカーへご連絡ください。

部 位	現 象	原 因
水 栓	水の勢いが弱い。	ストレーナーが目詰まりしている。
		給湯の能力が不足している。
	湯温が上がらないまたは変動する。	給湯器の設定温度が低い。
		水栓からの吐水量が少なく、給湯器が着火していない。
		給湯の能力が不足している。
		ストレーナーが目詰まりしている。
		サーモスタット水栓の温度調節がズれている。
白熱灯	白熱灯が点灯しない。	ランプがソケットにしっかりとハマっていない。
		ランプの寿命が切れている。
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップまたはヘアキャッチャーが目詰まりしている。
浴槽	お湯がたまらない。	排水栓、ヘアキャッチャーが正しく取り付けしていない。

故障かな？と思ったら

天井について

ハイドーム天井の樹脂製天井は材料の特性上、ご使用の条件（冬期における暖房機の使用や浴室使用後の窓開放等）により音が発生する場合がありますが、故障につながるものではありません。

確認方法・対応方法

参照頁

→ スレーナーの掃除をします。

53

→ 浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。

→ 給湯器の設定温度を、使用する最高温度より10℃以上高く設定します。

→ 水栓からの吐水量を多くします。

→ 浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。

→ スレーナーの掃除をします。

53

→ 温度調節ハンドルを設定しなおします。
（水栓の取扱説明書をご覧ください。）

→ ランプをソケットに確実にはめます。

57

→ ランプを交換します。

57

→ 排水トラップまたはヘアキャッチャーの掃除をします。

47

→ 排水栓およびヘアキャッチャーを正しく取り付けます。

48

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

故障かな？と思ったら

ハイドーム天井点検口フタの取外し方

電気配線や配管関係等の点検・修理の際に工事業者様へお知らせください。

⚠ 注意

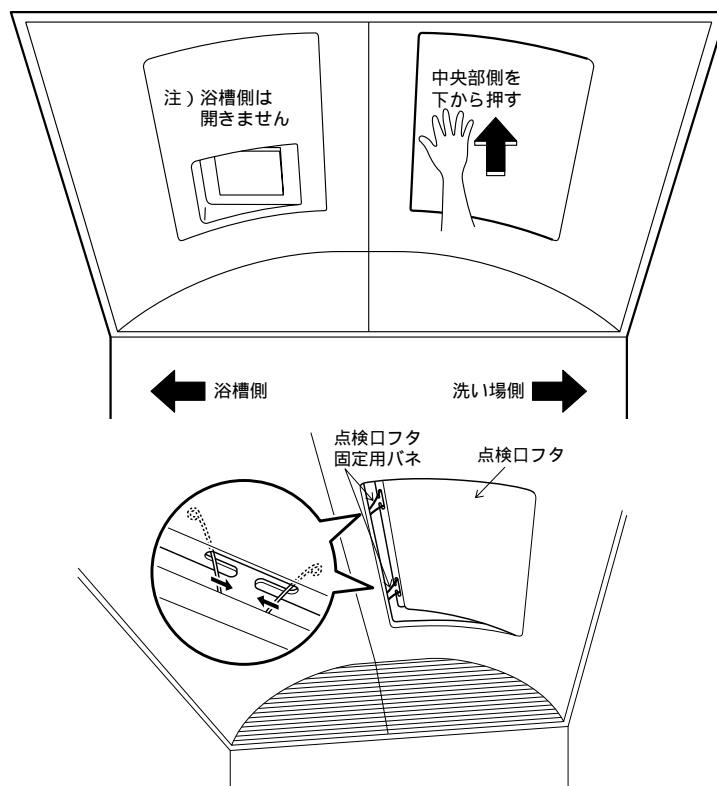
点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。

火災・感電や天井破損の原因となります。



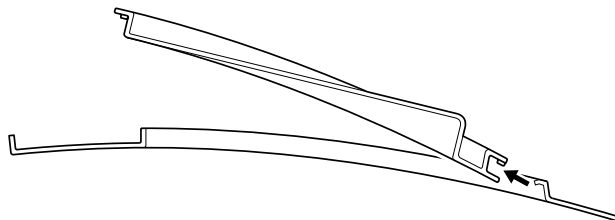
1

洗い場側点検口フタの中央よりを押し上げ、点検口フタを固定しているバネを内側につまんで、点検口フタから外します。



2

点検口フタを天井中央側にスライドさせると点検口フタが外れます。



3

点検口を再び取り付ける際は①②と逆の手順で取り付けます。

点検口フタ固定用バネは、必ず掛けてください。点検口フタが落ちてケガをする恐れがあります。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(64ページ)を参照してください。

それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。

なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- 浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、機器スイッチおよび分電盤のブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。
異常のまま運転を続けると火災や漏電・漏水の原因になることがあります。



注意

別荘等長期間使用しない場合は分電盤のブレーカーを切っておいてください。



2.保証と保証期間について

当システムバスルームは、建築会社様への引渡日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、有料による修理とさせていただく場合がございます。詳しくは、保証書(71ページ)をご覧ください。

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

- 1.おなまえ・おところ・電話番号
- 2.管理ナンバー・品番 ← P.70の「品番を調べる」参照
- 3.取付年月日
- 4.故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく) ← P.64の「故障かな?と思ったら」参照
- 5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、または(株)INAXメンテナンスに連絡してください。

- お求めの販売店
- (株)INAXメンテナンス

365日受付&修理

TEL ☎ 0120-1794-11

受付時間9:00~22:00

FAX ☎ 0120-1794-56

ホームページアドレス <http://www.i-mate.co.jp>

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6ヶ年です。保有期間経過後の修理では、該当する部品がない場合がありますのでご承知願います。

補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.定期点検のオススメ(有料)

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。

- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、入居から2年を経過したもの
- 温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- 別荘等、長期間にわたってご使用されていないもの

定期点検については、(株)NAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料(技術料)+出張料+部品代(交換した場合)です。

6.浴室リフレッシュプラン(有料)のご案内

(株)NAXメンテナンスでは、

- 浴室内の天井、壁、床、水栓金具を用途にあった洗剤を使用して磨きあげる
「バスルームオールリフレッシュ」等のサービス(有料)をご用意しております。

ぜひ、お気軽にお申し込みください。

お申込みに関するお問い合わせは、次のフリーダイヤルをご利用ください。

(株)NAXメンテナンス

365日受付&修理

TEL ☎ 0120-1794-11

受付時間9:00~22:00

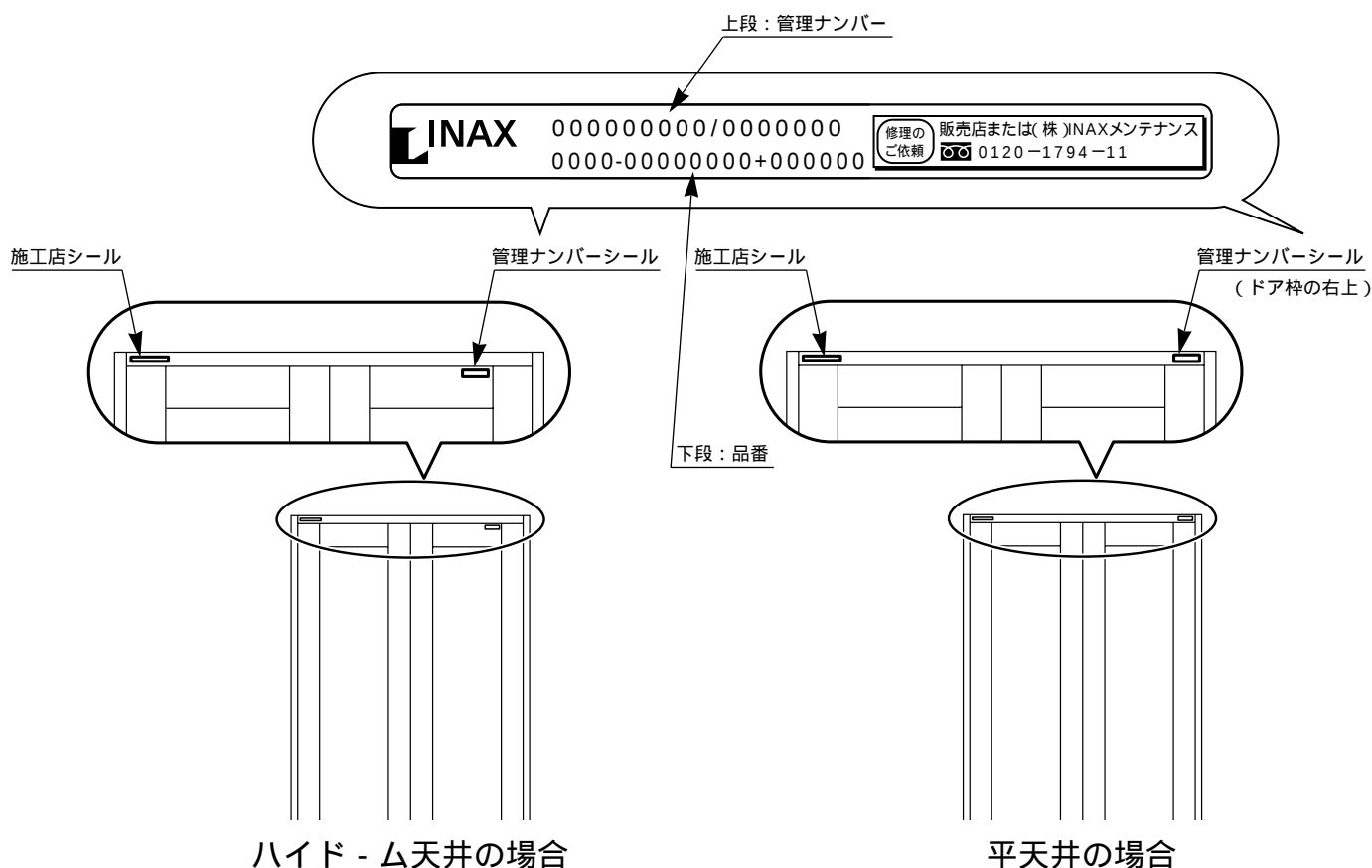
FAX ☎ 0120-1794-56

ホームページアドレス <http://www.i-mate.co.jp>

品番を調べる・廃棄について

ドアに張ってあるシールを見る

浴室内ドア右側上部に張ってある管理ナンバーシールで品番をご確認ください。



廃棄について

浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

部位	種類	材料
床	—	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	タイル	陶器質、セメント系無機質板、鋼管
	Lパネル	塩化ビニール樹脂金属積層板もしくはポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	平天井	塩化ビニール樹脂金属積層板、石膏ボード
	ハイド-ム天井	ポリスチレン
浴槽	シルフェ	基材...不飽和ポリエステル樹脂、炭酸カルシウム、ガラス繊維
	FRP	炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維
カウンター	—	ABS

保 証 書

品 目 名	システムバスルーム
シ リ - ズ 名	ルキナ北海道版

お 客 さ ま 名	様
	住所 〒 —
取 扱 店 ま た は 販 売 店	印
	住所 〒 —
	電話 () —
据 付 引 渡 日	年 月 日

無 償 修 理 保 証 期 間
据付引渡日から2ヶ年
ただし防水性能*は据付引渡日から5ヶ年

* 防水性能とは「壁、床等から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

お客さまへ

保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無償修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「注意ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で無償修理保証期間内に故障した場合、無償修理いたします。
- 無償修理をお受けになる場合、本書に記載の取扱店または販売店にご依頼のうえ、本書を提示ください。
- 本書に記載の取扱店または販売店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは弊社の最寄りの支社、営業所にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - * この保証書は本書に記載した期間、条件のもとにおいて、無償修理を行うことをお約束するものです。また本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
 - * 無償修理保証期間経過後の修理等、ご不明の点がございましたら本保証書に記載の取扱店、または販売店や本取扱説明書に記載のお客さま相談センター、弊社の最寄りの支社、営業所にご相談ください。

{ 免責事項 }

無償修理保証期間内でも下記の各項に該当する場合は有償修理とさせていただきます。

- 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障および損傷等の不具合。
- 指定業者や施工説明書等に基づかない施工および工事に起因する不具合。
- お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかったことによる故障および不具合。
- 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
- 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合。
- 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらいサビ等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合。
- 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガス等各種ガス）に起因する不具合。
- 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根等の植物の害に起因する不具合。
- 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波・地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷。
- 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合。
- 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・カビ等の現象。
- 消耗品（パッキン）類、配管中の異物の詰まり等による故障および損傷。
- 温泉水・井戸水等であって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障および損傷不具合。
- 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
- 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷。
- 給水・給湯配管のサビ、砂やゴミ等の異物の配管内流入および水アカ固着に起因する不具合。
- ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障および損傷等の不具合。
- 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合。
- 熱量変更に伴う調整等。
- 保証書の期限切れまたは提示がない場合。
- 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
- 建物完成後、入居までの間の管理等の不備によるもの。

株式会社 INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

(株) INAX「お客さま相談センター」

TEL ☎ 0120-1794-00

受付時間 平日 9:00～19:00

土日・祝日 10:00～18:00

(夏季、年末年始の休みは除く)

FAX ☎ 0120-1794-30

修理のご依頼は (本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

お求めの販売店または

365日受付 & 修理

(株) INAXメンテナンス

TEL ☎ 0120-1794-11

受付時間 9:00～22:00

FAX ☎ 0120-1794-56

ホームページアドレス <http://www.i-mate.co.jp>

INAXインターネット・ホームページ・アドレス <http://www.inax.co.jp/>

取扱店